Canon

imageFORMULA

CapturePerfect 3.0

操作ガイド

PUB. CE-IJ-769

はじめに

このたびはキヤノンドキュメントスキャナをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。

CapturePerfect 3.0 は、キヤノンドキュメントスキャナで画像をコンピュータに取り込むための ISIS 互換のアプリケーションソフトウェアです。CapturePerfect 3.0 の機能を充分に理解し、より効果的にご使用いただくために、本書および ISIS/TWAIN ドライバのヘルプならびに、お使いのスキャナの取扱説明書を併せてお読みください。

商標について

- ISIS™、MultiStream™ は、EMC Corporation の商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

著作権について

- libtiff
  Copyright (c) 1988-1996 Sam Leffler
  Copyright (c) 1991-1996 Silicon Graphics, Inc.

  Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that (i) the above copyright notices and this permission notice appear in all copies of the software and related documentation, and (ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising or publicity relating to the software without the specific, prior written permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.

  THE SOFTWARE IS PROVIDED “AS-IS” AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.
  IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER OR NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.
- libjpeg
  Portions of this software are based in part on the work of the Independent JPEG Group.

複製についてのご注意

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券およびパスポート、または公共団体や民間団体発行の免許証、許可書、公文書、私文書などの複製は違法となり、処罰の対象となります。
- 書籍、絵画、版画、地図、図面などの著作物の複製は、自己の使用以外の目的でお使いになることは禁じられていますのでご注意ください。

免責

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容は予告なく変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成しましたが、運用した結果の影響につきましては、前記にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

Copyright © 2006　CANON ELECTRONICS INC. ALL RIGHTS RESERVED

目次

はじめに 2

操作を始める前に 4

CapturePerfect ウィンドウについて 5
スキャナの選択と設定 15
保存される画像ファイルについて 17
保存されるファイル名について 23
マルチストリーム機能について 26
OCR 機能について 28
ログファイルについて 31
バーコード /OCR の修正について 32
その他の機能について 33

スキャン方法 37

スキャン１ページ 38
「スキャンバッチファイル」(スキャンした画像を指定したファイルに保存する) 39
「スキャンバッチプリント」(スキャンした画像を印刷する) 44
「スキャンバッチメール」(スキャンした画像を電子メールに添付する) 46
「スキャンバッチプレゼンモード」(スキャンした画像を全画面表示で表示する) 49
「スキャンジョブ」(あらかじめ登録したジョブを指定してスキャンをおこなう) 52

スキャンした画像の操作 56

サムネイルウィンドウを表示する 57
ウィンドウを分割する 58
画像を保存する 60
画像ファイルを開く 62
画像を印刷する 64
開いている画像の明るさを調整する 66
画像ファイルにページを挿入 / 追加する 67
画像ファイルのページを差し替える 70
PDF ファイルにセキュリティを設定する 73

索引 75

操作を始める前に

CapturePerfect を使用する前に、以下の説明をよくお読みください。

- CapturePerfect ウィンドウについて（→ P. 5）：CapturePerfect ウィンドウのメニューについて説明します。
- スキャナの選択と設定（→ P. 15）：スキャナの選択と設定の手順について説明します。
- 保存される画像ファイルについて（→ P. 17）：CapturePerfect で保存できるファイル形式について説明します。
- 保存されるファイル名について（→ P. 23）：CapturePerfect で保存されるファイル名の定義について説明します。
- マルチストリーム機能について（→ P. 26）：マルチストリーム出力機能について説明します。
- OCR 機能について（→ P. 28）：OCR 機能について説明します。
- ログファイルについて（→ P. 31）：バーコード検知機能および OCR 機能の使用時に、それらの認識結果をログファイルに保存する方法について説明します。
- バーコード /OCR の修正について（→ P. 32）：バーコードや OCR の認識結果が保存されたログファイルの確認および修正方法について説明します。
- その他の機能について（→ P. 33）：スキャンした画像の回転保存、分割保存の設定および、保存先に特定したフォルダの容量警告設定について説明します。

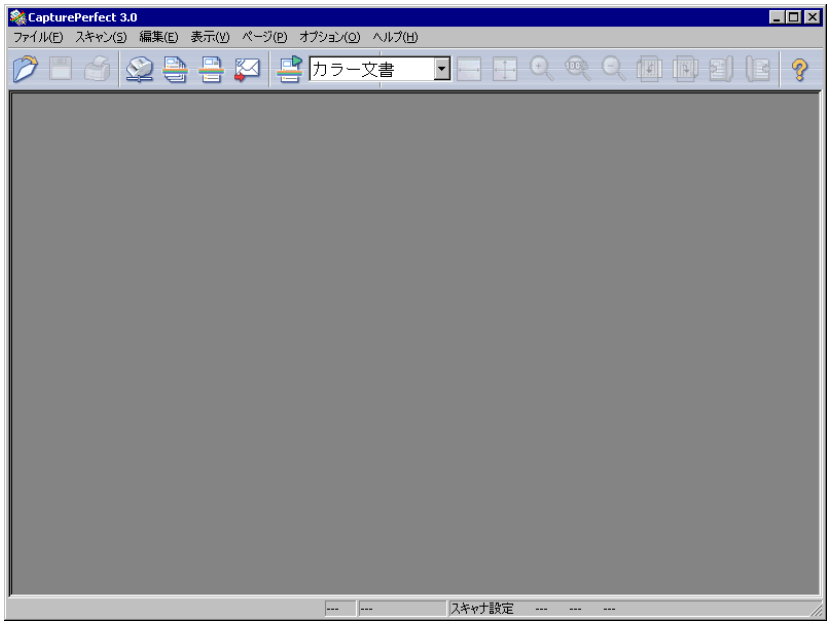
重要

- 使用するスキャナがコンピュータと正しく接続されていることを確認してください。詳細は、お使いのスキャナの取扱説明書を参照してください。
- CapturePerfect を使用する前に、スキャナの ISIS/TWAIN ドライバをインストールしてください。ISIS/TWAIN ドライバのインストールについては、お使いのスキャナの取扱説明書を参照してください。

CapturePerfect ウィンドウについて

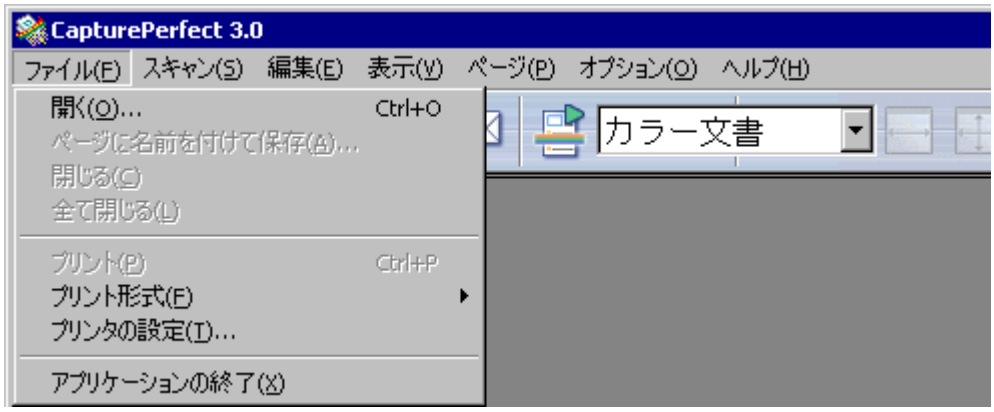
CapturePerfect を起動すると次のようなウィンドウが表示されます。ここでは、ウィンドウのメニューバーにある各メニューとステータスバーについて説明します。

[ファイル]メニュー, [スキャン]メニュー, [編集]メニュー, [表示]メニュー, [ページ]メニュー
[オプション]メニュー, [ヘルプ]メニュー, ステータスバー



[ファイル]メニュー

[ファイル]メニュー, [スキャン]メニュー, [編集]メニュー, [表示]メニュー, [ページ]メニュー
[オプション]メニュー, [ヘルプ]メニュー, ステータスバー



[開く]または ボタン

保存されている画像ファイルを開きます。開くことのできる画像ファイルは、CapturePerfect で保存した TIFF ファイル（＊ .tif）、JPEG ファイル（＊ .jpg）、BMP ファイル（＊ .bmp）、PDF ファイル（＊ .pdf）の 4 種類です。画像ファイルを開く（→ P. 62）

メモ

PDF ファイルにセキュリティが設定されている場合、ファイルを開くときにパスワードの入力が必要です。PDF ファイルにセキュリティを設定する（→ P. 73）

[ページに名前を付けて保存] または ボタン

開いている画像ファイルに名前を付けて保存します。画像を保存する（→ P. 60）

[閉じる]

開いている画像ファイルを閉じます。

[全て閉じる]

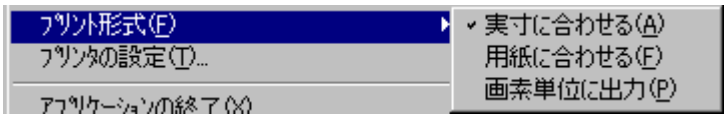
開いている画像ファイルを全て閉じます。

[プリント] または ボタン

ウィンドウに表示されている画像を印刷します。画像を印刷する（→ P. 64）

[プリント形式]

印刷する画像のサイズをサブメニューから選択します。



- [実寸に合わせる]
  印刷する用紙や読み込んだ解像度にかかわらず、原稿と同じサイズで印刷されます。
- [用紙に合わせる]
  画像を用紙サイズに合わせて拡大 / 縮小印刷します。
- [画素単位に出力]
  読み込んだ画像の 1 ドットがプリンタの 1 ドットになるように印刷されます。そのためドットの小さい高解像度のプリンタで印刷する場合、プリントサイズは小さくなります。

[プリンタの設定]

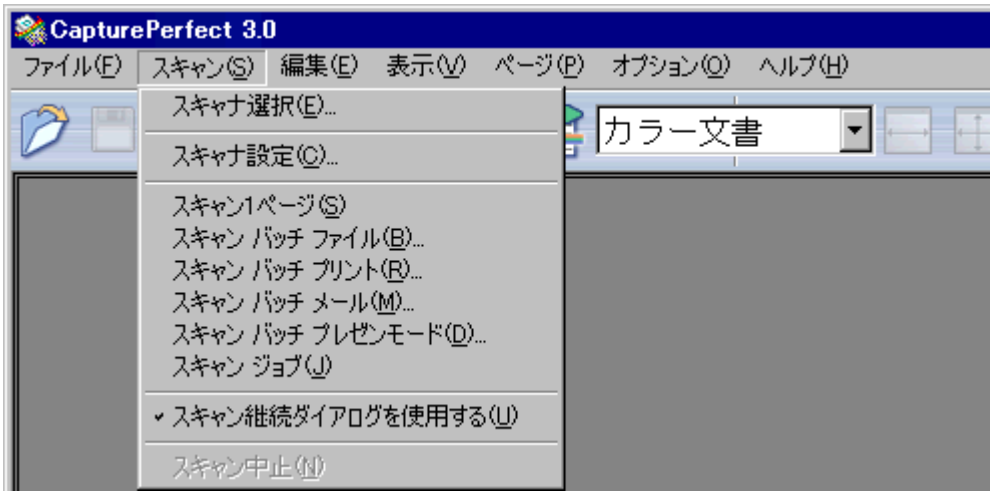
画像を印刷するプリンタの設定を行います。

[アプリケーションの終了]

CapturePerfect を終了します。

[スキャン]メニュー

[ファイル]メニュー, [スキャン]メニュー, [編集]メニュー, [表示]メニュー, [ページ]メニュー
[オプション]メニュー, [ヘルプ]メニュー, ステータスバー



[スキャナ選択]
使用するスキャナを選択します。スキャナの選択（→ P. 15）

[スキャナ設定] または ボタン
スキャナの設定をします。スキャナの設定（→ P. 15）

[スキャン 1 ページ] または ボタン
原稿を 1 ページスキャンして表示します。スキャン 1 ページ（→ P. 38）

[スキャンバッチファイル] または ボタン
連続して複数ページの原稿をスキャンすると同時に、ファイルに画像を保存します。「スキャンバッチファイル」（スキャンした画像を指定したファイルに保存する）（→ P. 39）

[スキャンバッチプリント] ボタン
原稿をスキャンしながら画像を印刷します。スキャンした画像は保存されません。「スキャンバッチプリント」（スキャンした画像を印刷する）（→ P. 44）

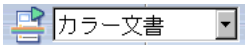
[スキャンバッチメール] または ボタン
スキャンした画像を電子メールに添付します。スキャンした画像は保存されません。「スキャンバッチメール」（スキャンした画像を電子メールに添付する）（→ P. 46）

[スキャンバッチプレゼンモード]
CapturePerfect を全画面表示に切り替えてスキャンを行います。スキャンした画像は、[スキャンバッチプレゼンモード] を終了時に保存する / しないを選択します。「スキャンバッチプレゼンモード」（スキャンした画像を全画面表示で表示する）（→ P. 49）

メモ

プレゼンテーションの会場など、コンピュータにプロジェクタが接続されている環境で使用することにより、紙の原稿をスキャンすると同時にスクリーンに投影して説明することができます。

[スキャンジョブ] または ボタン

ツールバーの 

（[ジョブタイトル] リストボックス）でジョブタイトルを選択し、
ボタンでスキャンジョブを実行します。ジョブタイトルは［編集］メニューの［ジョブ］を選択すると登録できます。「スキャンジョブ」（あらかじめ登録したジョブを指定してスキャンをおこなう）（→ P. 52）

[スキャン継続ダイアログを使用する]

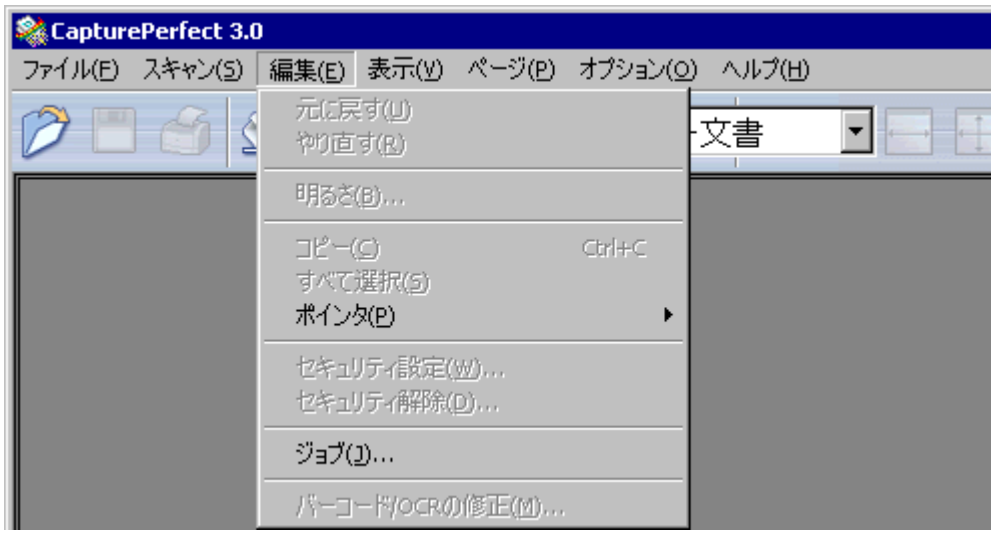
スキャンバッチファイルおよびスキャンバッチメールで原稿のすべてのページのスキャンが終わったときの動作を指定します。この項目がチェックされているときは、すべてのページのスキャンが終わったときに［スキャン継続］ダイアログボックスが表示され、続きの原稿をスキャンするかどうかを指定できます。この項目がチェックされていないときは、原稿のすべてのページのスキャンが終わったところでスキャン処理が終了します。「スキャンバッチファイル」（スキャンした画像を指定したファイルに保存する）（→ P. 39） 「スキャンバッチメール」（スキャンした画像を電子メールに添付する）（→ P. 46）

[スキャン中止]

実行中のスキャンを中止します。

[編集]メニュー

[ファイル]メニュー, [スキャン]メニュー, [編集]メニュー, [表示]メニュー, [ページ]メニュー
[オプション]メニュー, [ヘルプ]メニュー, ステータスバー



[元に戻す]

ページの操作（削除、挿入 / 追加、差し替えなど）を行った後に、変更した内容を変更前の状態に戻します。

[やり直す]
元に戻した内容を再度実行します。

[明るさ]
[明るさ調整]ダイアログボックスを表示し、表示されている画像の明るさとコントラストを調整します。開いている画像の明るさを調整する（→ P. 66）

[コピー]
[すべて選択]または、[ポインタ]-[選択]で指定された領域の画像をクリップボードにコピーします。
クリップボードにコピーした画像は、他のアプリケーションに貼り付けて使用することができます。

[すべて選択]
表示されている画像のすべての領域を指定します。

[ポインタ]
表示されている画像の一部の領域を指定するときに、ポインタの設定をサブメニューから変更します。

- [手]
  画像を表示し、カーソルを画像ウィンドウに移動したときにカーソルが手の形になります。画像を拡大しているときにドラッグして画像の表示領域を移動することができます。
- [選択]
  画像を表示し、カーソルを画像ウィンドウに移動したときにカーソルが十字カーソルになります。十字カーソルを対角線にドラッグするとドラッグした任意の領域が指定されます。

[セキュリティ設定]
PDF ファイルを開いているときに有効になり、開いている PDF ファイルにセキュリティを設定します。PDF ファイルにセキュリティを設定する（→ P. 73）

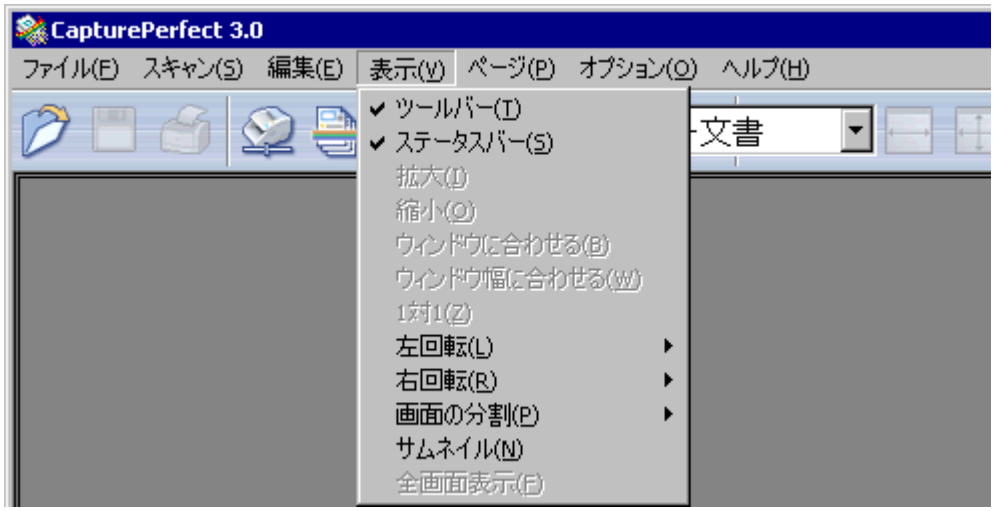
[セキュリティ解除]
セキュリティの設定されている PDF ファイルを開いているときに有効になり、設定されているセキュリティを解除します。セキュリティの解除（→ P. 74）

[ジョブ]
[ジョブ編集]ダイアログボックスを表示し、ジョブの登録 / 編集を行います。「スキャンジョブ」（あらかじめ登録したジョブを指定してスキャンをおこなう）（→ P. 52）

[バーコード /OCR の修正]
画像ファイルが開いているときに有効になり、[バーコード /OCR の修正]ダイアログボックスを表示して認識結果を修正します。バーコード /OCR の修正について（→ P. 32）

[表示]メニュー

[ファイル]メニュー, [スキャン]メニュー, [編集]メニュー, [表示]メニュー, [ページ]メニュー
[オプション]メニュー, [ヘルプ]メニュー, ステータスバー



[ツールバー]
ツールバーの表示 / 非表示を切り替えます。

[ステータスバー]
ステータスバー（→ P. 14）の表示 / 非表示を切り替えます。

[拡大] または ボタン
画像を拡大表示させます。
[表示] メニューの［拡大］を選択または［拡大］ボタンをクリックするたびに、画像が拡大表示されます。（最大 400%）

[縮小] または ボタン
画像を縮小表示させます。
[表示] メニューの［縮小］を選択または［縮小］ボタンをクリックするたびに、画像が縮小されます。（最小 10%）

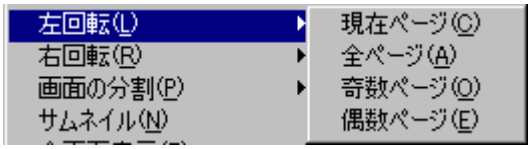
[ウィンドウに合わせる] または ボタン
ウィンドウの大きさに合わせて画像全体を表示させます。

[ウィンドウ幅に合わせる] または ボタン
画像の幅をウィンドウの幅に合わせて表示させます。

[1 対 1]
画像の 1 ドットをモニタの 1 ドットで表示させます。モニタに実際に表示される大きさは、モニタのサイズおよび解像度によって変わります。

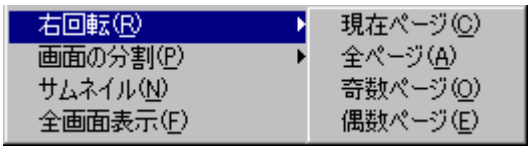
[左回転] または ボタン

サブメニューで指定したページの画像を反時計回りの方向に回転させます。



[右回転] または ボタン

サブメニューで指定したページの画像を時計回りの方向に回転させます。



[画面の分割]

画像表示ウィンドウを２画面または４画面に分割して表示させます。ウィンドウを分割する（→ P. 58）

[サムネイル]

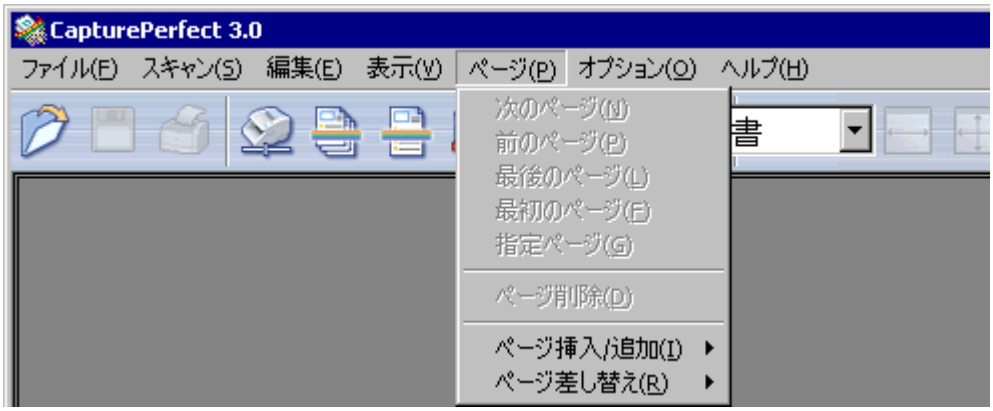
サムネイルウインドウを開き、開いている画像を縮小表示させます。サムネイルウィンドウを表示する（→ P. 57）

[全画面表示]

開いている画像を全画面表示させます。全画面表示中は、マウスの右ボタンでサブメニューが表示され、表示状態を変更することができます。「スキャンバッチプレゼンモード」（スキャンした画像を全画面表示で表示する）（→ P. 49）

[ページ]メニュー

[ファイル]メニュー, [スキャン]メニュー, [編集]メニュー, [表示]メニュー, [ページ]メニュー
[オプション]メニュー, [ヘルプ]メニュー, ステータスバー



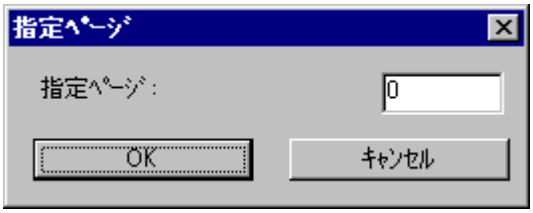
[次のページ] または ボタン
次ページの画像を表示させます。

[前のページ] または ボタン
前ページの画像を表示させます。

[最後のページ]
最後のページの画像を表示させます。

[最初のページ]
最初のページの画像を表示させます。

[指定ページ]
ページを指定して画像を表示させます。



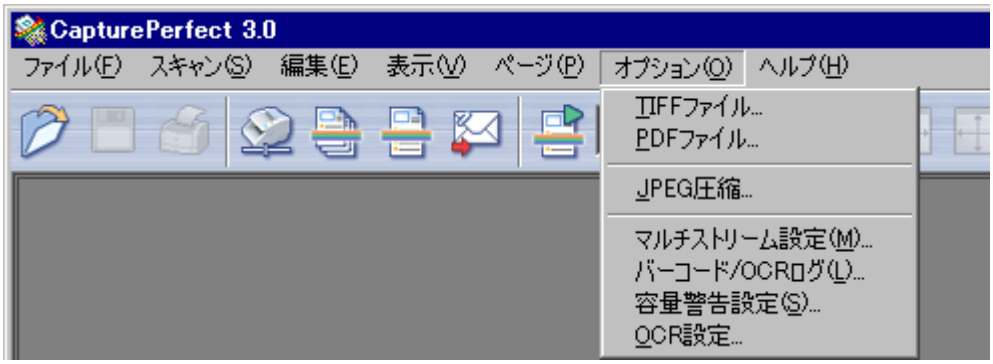
[ページ削除]
開いているページを削除します。

[ページ挿入 / 追加]
開いている画像ファイルにページを挿入 / 追加します。
追加するページは、スキャナからの読み込み、または既存のファイルから選択します。画像ファイルにページを挿入 / 追加する（→ P. 67）

[ページ差し替え]
開いている画像ファイルのページを差し替えます。
差し替えるページは、スキャナからの読み込み、または既存のファイルから選択します。画像ファイルのページを差し替える（→ P. 70）

[オプション]メニュー

[ファイル]メニュー, [スキャン]メニュー, [編集]メニュー, [表示]メニュー, [ページ]メニュー
[オプション]メニュー, [ヘルプ]メニュー, ステータスバー



[TIFF ファイル]
TIFF ファイルを保存するときの保存方法を設定します。TIFF ファイルの圧縮形式を設定する（→ P. 18）

[PDF ファイル]
PDF ファイル（＊ .pdf）を保存するときの圧縮率や OCR 対象言語を設定します。PDF ファイルの保存方法を設定する（→ P. 19）

[JPEG 圧縮]
JPEG ファイルを保存したり JPEG 形式で圧縮するときの保存方法を設定します。JPEG 圧縮を設定する（→ P. 20）

[マルチストリーム設定]
[マルチストリーム設定]は、ファイルメニューの［スキャナ選択］で指定したスキャナが、マルチストリーム出力機能に対応している場合に有効で、マルチストリーム出力を行うための読み取り条件やファイル形式を設定します。マルチストリーム機能について（→ P. 26）

メモ
指定したスキャナが、マルチストリーム出力機能に対応していない場合、[マルチストリーム設定]は無効になります。

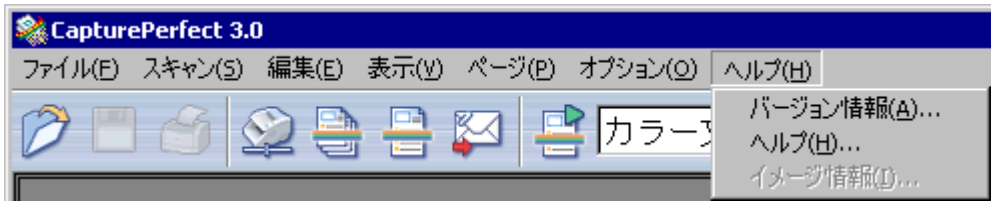
[バーコード /OCR ログ設定]
[バーコード /OCR ログ設定]ダイアログボックスを表示し、バーコードや OCR の認識結果を保存するログファイルを指定します。ログファイルについて（→ P. 31）

[容量警告設定]
[容量警告設定] ダイアログボックスを表示し、容量警告設定を行います。容量警告設定（→ P. 35）

[OCR 設定]
[OCR 設定] ダイアログボックスを表示し、文字認識の対象言語の設定を行います。OCR 機能について（→ P. 28）

[ヘルプ]メニュー

[ファイル]メニュー, [スキャン]メニュー, [編集]メニュー, [表示]メニュー, [ページ]メニュー
[オプション]メニュー, [ヘルプ]メニュー, ステータスバー



[バージョン情報]
CapturePerfect のバージョン情報が表示されます。

[ヘルプ] または ボタン
CapturePerfect のヘルプが表示されます。

[イメージ情報]
開いている画像ファイルのイメージ情報を表示します。

ステータスバー

[ファイル]メニュー, [スキャン]メニュー, [編集]メニュー, [表示]メニュー, [ページ]メニュー
[オプション]メニュー, [ヘルプ]メニュー, ステータスバー

ステータスバーには、表示されている画像の表示倍率（%）、ページ数および、スキャナ設定（モード・解像度・用紙サイズ）が表示されます。

メモ

CapturePerfect を起動した際、ステータスバーは “---” で表示されます。

スキャナの選択と設定

スキャナの選択

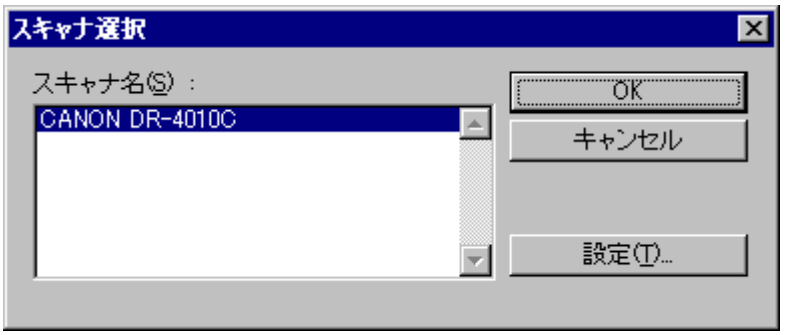
CapturePerfect を使用する前に、以下の手順にしたがって、CapturePerfect で使用するスキャナを選択します。選択されたスキャナの設定は、他のスキャナが選択されるまで保持されます。

重要

使用するスキャナがコンピュータと正しく接続されていること、スキャナとコンピュータの電源がオンになっていることを確認してください。詳細は、お使いのスキャナの取扱説明書を参照してください。

1 ［スキャン］メニューの［スキャナ選択］を選択します。

［スキャナ選択］ダイアログボックスが表示されます。



メモ

ダイアログボックスにスキャナ名が表示されない場合、お使いのスキャナの ISIS/TWAIN ドライバのインストールを行ってください。

2 使用するスキャナを選択し、[OK]ボタンをクリックします。

［スキャナ選択］ダイアログボックスが閉じて、スキャナの選択が完了します。

スキャナの設定

原稿をスキャンする前に、スキャナの設定を行います。設定した内容は、変更するまで保持されます。

1 ［ファイル］メニューの［スキャナ設定］または、 ボタンをクリックします。

スキャナの設定ダイアログボックスが表示されます。

メモ

- 表示される設定ダイアログボックスはスキャナによって変更します。
- スキャナの設定は、スキャンを実行する際の設定ダイアログボックスで設定することもできます。スキャン方法（→ P. 37）

2 読み取り条件などの設定を行います。

設定内容については、設定ダイアログボックスにある［ヘルプ］ボタンをクリックしてドライバのヘルプを参照してください。

3 [OK]ボタンをクリックして設定を終了します。

保存される画像ファイルについて

ここでは、CapturePerfect で保存できる画像のファイル形式とファイル名の定義および、マルチページファイルについて説明します。

保存できるファイル形式について

CapturePerfect でスキャンした画像は、TIFF ファイル（＊ .tif）、BMP ファイル（＊ .bmp）、JPEG ファイル（＊ .jpg）、PDF ファイル（＊ .pdf）の 4 種類のファイル形式で保存できます。ただし、JPEG ファイル（＊ .jpg）は、スキャナ設定時に指定した読み取りのモードが ［256 階調グレー］、［24 ビットカラー］または ［カラー白黒検知］の場合に有効です。

読み取りのモード	保存できるファイル形式			
	TIFF	BMP	PDF	JPEG
「白黒」	○	○	○	×
「誤差拡散」	○	○	○	×
「テキストエンハンスト」	○	○	○	×
「アドバンスト テキスト エンハンスメント」	○	○	○	×
「アドバンスト テキスト エンハンスメント II」	○	○	○	×
「高速テキスト エンハンスメント」	○	○	○	×
「256 階調グレー」	○	○	○	○
「24 ビットカラー」	○	○	○	○
「カラー白黒検知」	○	○	○	○

メモ

- 選択できる読み取りのモードは、スキャナによって異なります。
- 「JPEG ファイル（＊ .jpg）」を選択した場合は、［オプション］メニューの［JPEG 圧縮］で設定した画像の品質が適用されます。詳細は、「JPEG 圧縮を設定する（→ P. 20）」を参照してください。
- ［カラー白黒検知］で「JPEG ファイル（*.jpg）」を選択した場合、白黒画像は CCITT_ グループ 4 で圧縮された TIFF ファイルで保存され、カラー画像は［オプション］メニューの［JPEG 圧縮］で設定した画像の品質が適用された JPEG ファイルで保存されます。
- 「PDF ファイル（＊ .pdf）」を選択した場合は、［オプション］メニューの［PDF ファイル］で設定した圧縮率などが適用されます。詳細は、「PDF ファイルの保存方法を設定する（→ P. 19）」を参照してください。

ファイル形式別の設定

ファイル形式によって以下の設定があります。設定は、［オプション］メニュー（→ P. 13）からファイル形式を選択して設定します。

TIFF ファイルの圧縮形式を設定する

「ページに名前を付けて保存する」でファイルの種類を［TIFF ファイル（＊ .tif)］にした場合、ここで指定した圧縮形式が適用されます。

1 ［オプション］メニューの［TIFF ファイル］を選択します。

［TIFF ファイルの設定］ダイアログボックスが表示されます。

2 画像の種類(白黒、グレー、カラー)を選択します。

3 リストボックスから圧縮形式を選択します。

画像の種類が白黒の場合「CCITT_ グループ 4」、画像の種類がグレーおよびカラーの場合「OLD JPEG（6)」または「JPEG（7)」を選択できます。圧縮を「なし」にした場合、保存されるファイルサイズが大きくなります。

メモ

- 「CCITT_ グループ 4」
  FAX 機器などのデータ通信で使用されている圧縮形式で、白黒２値画像の圧縮形式として使用されます。
- 「OLD JPEG（6)」、「JPEG（7)」
  グレースケールやカラー画像の保存に使用されている圧縮形式です。「OLD JPEG（6)」または、「JPEG（7)」を選択した場合、［JPEG 圧縮］ダイアログボックスの設定値が適用されます。

重要

- 「OLD JPEG（6)」は、Windows 2000 以前の Windows にバンドルされている「イメージング」でサポートされている JPEG 形式で、Windows XP にバンドルされている「Windows 画像と FAX ビュアー」ではサポートされていません。
- 「JPEG（7)」は、Windows 2000 以前の Windows にバンドルされている「イメージング」ではサポートされていません。
- CapturePerfect でサポートされている圧縮形式は、他のアプリケーションでサポートされていない場合があります。CapturePerfect で保存した TIFF ファイルが他のアプリケーションで開けない場合には、圧縮を「なし」にして保存しなおしてください。

PDF ファイルの保存方法を設定する

スキャンした画像を PDF ファイル（＊ .pdf）で保存する場合の圧縮率や OCR 対象言語などの保存方法を設定します。

1 ［オプション］メニューの［PDF ファイル］を選択します。

［PDF ファイル設定］ダイアログボックスが表示されます。

2 以下の設定を行います。

- ［モード］
  PDF ファイルの圧縮率を選択します。
  - ［高圧縮］
    ファイルが高圧縮で保存されます。画質は悪くなりますがファイルのサイズは小さくなります。
  - ［標準］
    ファイルが標準圧縮で保存されます。
  - ［文字優先］
    文字の可読性を損なわないように、文字以外の部分だけが圧縮されて保存されます。

  メモ

  モードの設定は、スキャナ設定時に指定した読み取りのモードが ［256 階調グレー］または ［24 ビットカラー］の場合、あるいは［カラー白黒検知］でカラー原稿を検知した場合に有効です。読み取りのモードで［白黒］、［誤差拡散］などの 2 値画像を選択した場合、読み取る原稿によりファイルのサイズが変わります。
- ［OCR 対象言語］
  ［OCR 情報の付加］チェックボックスをオンにした場合は、読み取る活字の対象となる言語をリストボックスの中から選択します。
- ［OCR 情報の付加］
  このチェックボックスをオンにすると、画像の中の活字部分が認識され、認識された部分にテキストデータが付加された状態で保存されます。

メモ

– OCR 情報を付加した PDF ファイル（＊ .pdf）には、画像として取り込まれた原稿の文字列が文字認識されてテキストデータとして保存されています。

– ［OCR 情報の付加］をオンにすると、スキャナドライバの［斜行補正］の設定に拘わらず斜行補正を行います。読み取りサイズより小さい原稿をスキャンしたときや、TWAIN ドライバの設定で［マージン］を広く設定したときに、画像が左上に寄せられます。

– ［OCR 情報の付加］をオンにすると、原稿によっては画像の一部が欠けることがあります。このようなときは、［OCR 情報の付加］をオフにしてください。

• ［高速転送］
［高速転送］は、お使いのスキャナが JPEG 転送に対応している場合に有効です。
スキャナ設定時に指定した読み取りのモードが ［256 階調グレー］または ［24 ビットカラー］の場合に、スキャナで読み取った画像を JPEG 圧縮してコンピュータに転送します。

メモ

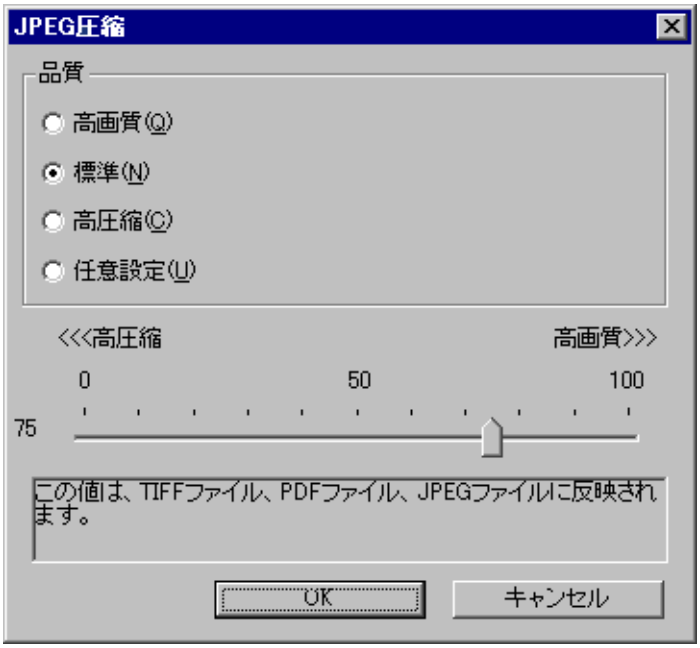
［高速転送］をオンにした場合は、JPEG 圧縮ダイアログボックスの設定値が適用されます。

3 ［OK］ボタンをクリックします。
［PDF ファイル設定］ダイアログボックスが閉じます。

JPEG 圧縮を設定する

スキャンした画像を JPEG ファイルで保存する場合や、PDF ファイル設定で［高速転送］をオンにした場合、TIFF ファイル設定で「OLD JPEG（6）」または「JPEG（7）」を選択した場合の画像品質を設定します。設定する画像品質によってファイルサイズは変化します。

1 ［オプション］メニューの［JPEG 圧縮］を選択します。
［JPEG 圧縮］ダイアログボックスが表示されます。



2 以下の設定を行います。

［品質］

ファイルを保存するときの品質を次の項目の中から選択します。項目を選択すると、スライダの値も変化します。

［品質］の設定値	スライダの値	画質	ファイルサイズ
［高画質］	90（自動）	高	大
［標準］	75（自動）	標準	標準
［高圧縮］	10（自動）	低	小
［任意設定］	スライダを手動で設定	メモ参照	メモ参照

メモ

画質優先で高画質にした場合、保存時の画質は良くなりますがファイルサイズが大きくなります。逆に、ファイルサイズ優先で高圧縮にした場合、保存時の画質は悪くなりますがファイルサイズは小さくなります。

3 ［OK］ボタンをクリックします。

［JPEG 圧縮］ダイアログボックスが閉じます。

マルチページファイルについて

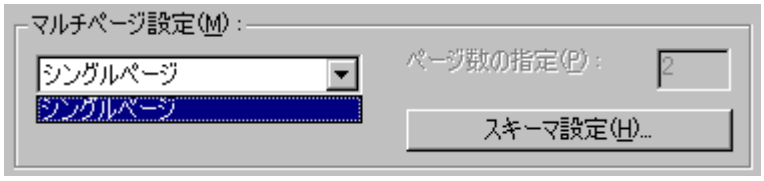
スキャンバッチファイル（→ P. 39）、スキャンバッチメール（→ P. 46）でスキャンする際、または、開いている画像を保存（→ P. 60）するときに、ファイルの種類で TIFF ファイル（＊ .tif）、PDF ファイル（＊ .pdf）を指定すると、複数の画像を 1 つのファイルに保存することのできる「マルチページ」が指定できます。

マルチページ設定

マルチページ設定は、スキャンバッチファイル（→ P. 39）、スキャンバッチメール（→ P. 46）でスキャンするときの設定ダイアログボックスで設定します。

マルチページ設定は、設定ダイアログボックスのファイルの種類で、BMP ファイル（＊ .bmp）、JPEG ファイル（＊ .jpg）または、TIFF ファイル（＊ .tif）、PDF ファイル（＊ .pdf）を選択したときで、設定内容が変わります。

BMP ファイル（＊ .bmp）、JPEG ファイル（＊ .jpg）を選択したとき



リストボックスには、［シングルページ］のみ表示され、1 画像 1 ファイルで保存されます。また、［スキーマ設定］ボタンが有効になり、［ファイル名］で指定したファイル名にスキャンしたときの情報を付加することができます。スキーマについて（→ P. 23）

TIFF ファイル（＊ .tif）、PDF ファイル（＊ .pdf）を選択したとき

- シングルページ
  スキャンした複数ページの画像を、１画像１ファイルで保存します。
- マルチページ（すべてのページ）
  スキャンした複数ページのすべての画像を、１つのマルチページファイルに保存します。
- マルチページ（指定ページ数ごと）
  ［ページ数の指定］が有効になり、スキャンした複数ページの画像を、指定したページ数ごとに分割された複数のマルチページファイルに保存します。

リストボックスに、［マルチページ（すべてのページ）］と［マルチページ（指定ページ数ごと）］が表示され、複数ページの画像を１ファイルに保存することができます。

メモ

［マルチページ（指定ページ数ごと）］を選択すると、［ページ数の指定］で指定したページ数ごとに分割した複数のマルチページファイルに保存されます。また、スキャンバッチファイル設定ダイアログボックス（→ P. 39）のバッチ区切りタイプの設定が「なし」になります。

保存されるファイル名について

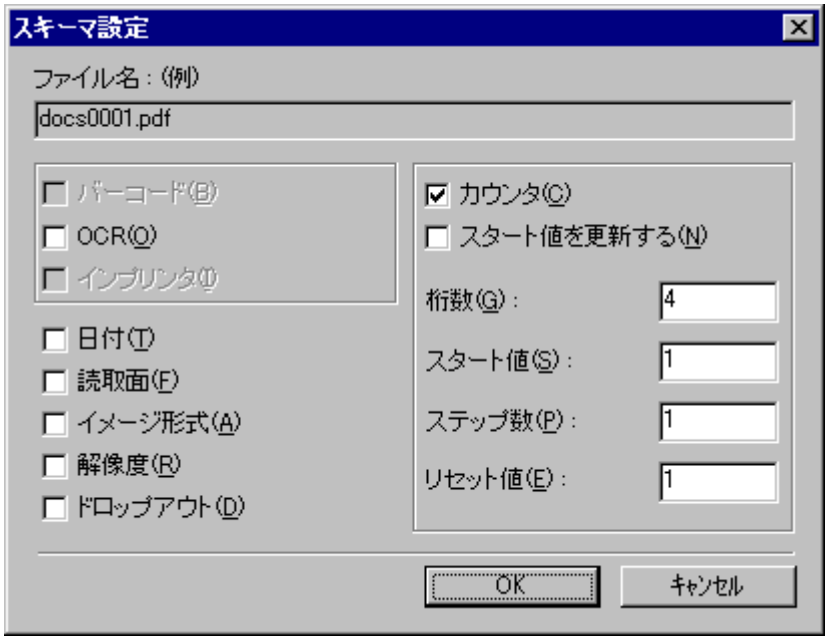
ここでは、CapturePerfect でスキャンして保存される画像のファイル名の定義と制限について説明します。

ファイル名の定義について

- ファイル形式として、BMP ファイル（＊ .bmp）、JPEG ファイル（＊ .jpg）、TIFF ファイル（＊ .tif）または PDF ファイル（＊ .pdf）を選択し、マルチページ設定で［シングルページ］を指定した場合、［スキーマ設定］で定義される文字列が指定したファイル名の後に自動的に付加されます。
- ファイル形式として、TIFF ファイル（＊ .tif）または PDF ファイル（＊ .pdf）を選択し、マルチページ設定で［マルチページ］を指定した場合、複数ページの画像が 1 つのファイルで保存されます。マルチページファイルについて（→ P. 21）

スキーマについて

スキーマは、マルチページ設定（→ P. 21）で、［シングルページ］を選択したときに保存されるファイル名に必ず適用され、スキーマ設定を行わない場合でも、スキーマ設定で指定された桁数（初期値は、4 桁）のカウンタが指定したファイル名に必ず付加されます。　例）docs0001.tif



スキーマの設定

［スキーマ設定］ダイアログボックスで、付加する情報のチェックボックスをチェックすると、チェックされた情報が、保存されるファイル名に自動的に付加されます。

- チェックボックスをチェックすると、ファイル名：（例）が、変化します。
- マルチストリーム設定で行うスキーマの設定では、指定したファイル名の後に、“Pri”または “Sec”が付加されます。

付加される文字列は、チェックした項目別に以下のようになります。

- ［カウンタ］のチェックを外すことはできません。ただし、［バーコード］、［インプリンタ］、［OCR］、［日付］のいずれかが有効の場合を除きます。
- ［バーコード］、［インプリンタ］、［OCR］は、同時にチェックすることはできません。
- 「バーコード」は、スキャナが対応しているときに有効になり、読み取り設定でバーコード検知が有効になっている場合に、最大４つのバーコードの認識結果が付加されます。ただし、付加されるのは 64 文字までです。
- 「OCR」をチェックすると、OCR 認識が有効になり、文字認識した文字列の先頭から 64 文字が付加されます。
- 「インプリンタ」は、スキャナが対応しているときに有効になり、インプリンタで印字する文字列が付加されます。
- 「日付」は、スキャン時の年月日時分秒ミリ秒が 17 桁の数字で付加されます。
- 「読取面」は、表面の画像に ［Fron］、裏面の画像に ［Back］が付加されます。
- 「イメージ形式」、「解像度」、「ドロップアウト」は、指定した条件で下表の文字列が付加されます。

スキーマの設定	ドライバの設定	ファイル名に付加される文字列
イメージ形式	白黒	Bina
	誤差拡散	Erro
	テキストエンハンスト	Text
	アドバンストテキストエンハンスメント	ATex
	アドバンストテキストエンハンスメント II	ATx2
	高速テキストエンハンスメント	FTex
	256 階調グレー	Gray
	24 ビットカラー	Colo
	カラー白黒検知	Bina または Colo
解像度	100 dpi	100
	150 dpi	150
	200 dpi	200
	240 dpi	240
	300 dpi	300
	400 dpi	400
	600 dpi	600
ドロップアウト	なし	None
	ドロップアウトカラー赤	DRed
	ドロップアウトカラー青	DBlu
	ドロップアウトカラー緑	DGre
	ドロップアウトカラーカスタム	DCus
	赤強調	ERed
	青強調	EBlu
	緑強調	EGre
	カスタムカラー強調	ECus

カラー白黒検知の場合は、検知した形式の変換例が付加されます。

- 「カウンタ」は、［桁数］、［スタート値］、［ステップ数］で指定されたカウンタが付加されます。
- カウンタは、［スタート値］で設定された値からスタートします。［スタート値を更新する］をチェックすると、スキャンして保存された最後のカウンタの値の次の値にスタート値が更新されます。それにより、次回スキャン時には、前回スキャンしたときの最後のカウンタ値の次の値からカウンタがスタートします。

ファイル名の制限について

画像ファイルを保存する場合、保存するファイル名およびフォルダのパス名は、絶対パス名で 200 文字以内にしてください。絶対パス名で、200 文字を超えるファイル名では保存できません。

マルチストリーム機能について

マルチストリーム機能は、お使いのスキャナがマルチストリーム機能に対応している場合に有効で、一回のスキャンで、カラーと白黒、グレーと白黒など２種類の異なる画像データを出力したり、表裏で異なった種類の画像データを出力することができます。

［マルチストリーム設定］は、お使いのスキャナがマルチストリーム機能に対応している場合に表示または有効になり、［オプション］メニューの［マルチストリーム設定］または、スキャンバッチファイル（→ P. 39）の設定ダイアログボックスで設定します。

メモ

スキャナの設定で［モード］を［カラー白黒検知］にしているときは、マルチストリーム機能は無効になります。

マルチストリーム設定について

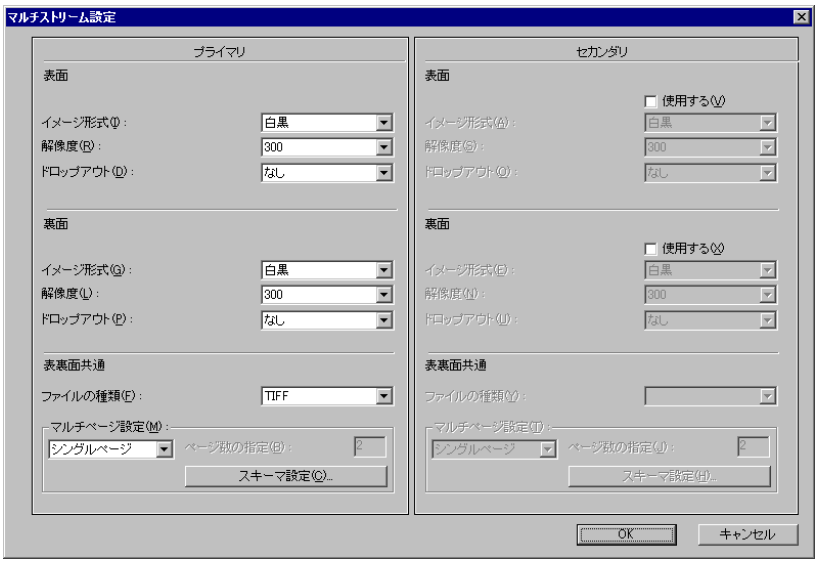
1 ［マルチストリームを使用する］チェックボックスをオンにします。

メモ

マルチストリームを有効にすると、ファイルの種類とマルチページの設定は、［マルチストリーム設定］ダイアログボックスで行うため、無効になります。

2 ［設定］ボタンをクリックします。

［マルチストリーム設定］ダイアログボックスが表示されます。



3 マルチストリーム出力の設定を行います。

- セカンダリ画像の設定
  セカンダリ画像は、［使用する］チェックボックスをチェックすると設定が有効になります。
- 読み取り条件（イメージ形式、解像度、ドロップアウト）の設定
  読み取り条件の選択肢は、選択したスキャナによって変わります。詳細については、お使いのスキャナの ISIS/TWAIN ドライバのヘルプを参照してください。

- ファイルの種類
  保存するファイル形式（TIFF, BMP, PDF, JPEG）を選択します。ただし、［JPEG］はイメージ形式が ［256 階調グレー］または ［24 ビットカラー］の場合に表示されます。保存される画像ファイルについて（→ P. 17）
- マルチページの設定
  ファイルの種類に合わせて、マルチページの設定およびスキーマを設定します。マルチページ設定（→ P. 21）

4 ［OK］ボタンをクリックします。

［マルチストリーム設定］ダイアログボックスが閉じます。

メモ

- スキャナによっては、マルチストリームを使用する場合、「半折り」「白紙スキップ」「プレスキャン」「文字向き検知」「パッチコード (ファイル区切り)」を使用することができません。
- DR-7080C または DR-7090C のスキャナの設定で「給紙オプション」を［標準給紙］に設定した場合、フラットベッドでスキャンした画像に対してマルチストリーム出力機能は無効になります。フラットベッドでスキャンした画像に対してマルチストリーム出力機能を有効にする場合には、「給紙オプション」で［パネルで給紙］を指定してください。

OCR 機能について

CapturePerfect には、スキャンした画像内にある文字の部分を文字情報として認識することのできる OCR 機能が用意されています。文字認識は、［OCR 設定］ダイアログボックスで［有効］チェックボックスをチェックした場合に行われます。

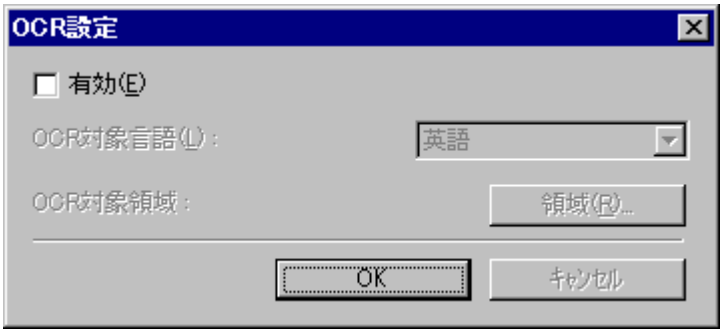
メモ

- OCR 機能を有効にした場合、読み取った画像に対して斜行補正を行います。
- PDF ファイルに文字情報を付加するための設定については、「PDF ファイルの保存方法を設定する（→ P. 19）」を参照してください。
- スキーマの設定については、「スキーマについて（→ P. 23）」を参照してください。
- 上記２つの機能を両方とも有効にした場合、読み取った画像に対して文字認識を２回行います。

OCR 設定について

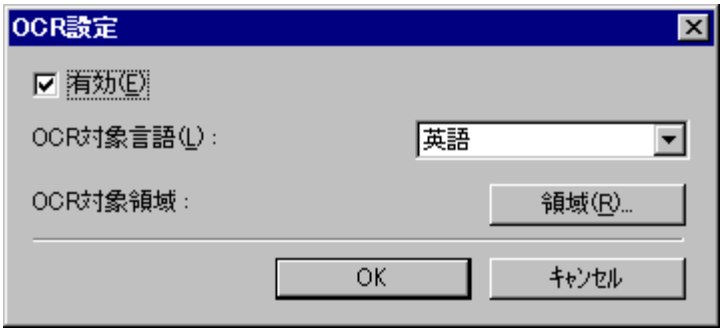
1 ［オプション］メニューの［OCR 設定］を選択します。

［OCR 設定］ダイアログボックスが表示されます。



2 ［有効］チェックボックスをチェックします。

［OCR 設定］が有効になります。



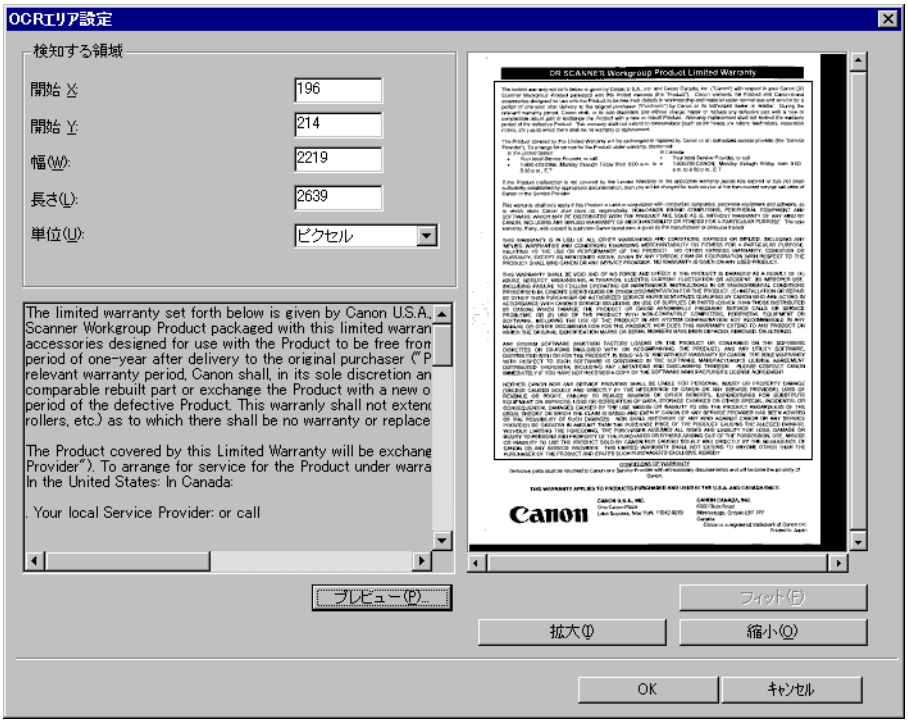
3 文字認識を行う活字の対象となる言語をリストボックスの中から選択します。

メモ

中国語を選択した場合、中国語以外の環境では、中国語の文字認識結果を正常に表示させることができません。

4 [領域]ボタンをクリックしします。

[OCR エリア設定] ダイアログボックスが表示されます。



5 検知する領域を入力します。

6 文字認識を行う原稿を１枚セットし、[プレビュー]ボタンをクリックしします。

スキャンを行います。

メモ

- ［拡大］、［縮小］ボタンで表示されている画像のサイズを変更し、画像内の文字と認識結果を比較できます。
- プレビューした画像上でマウスを対角線にドラッグすることで、領域を変更することができます。

7 ［OK］ボタンをクリックし、各ダイアログボックスを閉じて、OCR 設定を終了させます。

ログファイルについて

バーコード検知機能や OCR 機能で認識した結果は、CSV 形式のログファイルとして保存することができます。

ログファイルを保存するには、以下の［バーコード /OCR ログ設定］ダイアログボックスでそれぞれのタブにある［ログファイルに結果を出力する］をチェックし、ログファイルを指定します。

メモ

- バーコードは、スキャナが対応している場合に有効になります。
- ログファイルが保存されている画像ファイルのページを編集（追加、削除、差し替え）した場合、ログファイルも編集されます。このとき、ログファイルのファイルサイズによってはログファイルの編集に時間がかかる場合があります。

バーコード /OCR の修正について

バーコードや OCR の認識結果はログファイルに保存されています。ログファイルについて（→ P. 31）
［バーコード /OCR の修正］ダイアログボックスでは、保存されているログファイルの認識結果を表示させ、必要に応じて認識結果を修正します。

メモ

- 認識結果の修正は、保存されているログファイルに反映されます。
- 画像ファイルの保存場所を変更すると、ログファイルは無効になり、バーコード /OCR の修正はできません。
- ［オプション］メニューの［バーコード /OCR ログ設定］ダイアログボックスで［ログファイルに結果を出力する］がチェックされていないとバーコード /OCR の修正はできません。

その他の機能について

CapturePerfect には、スキャンした画像を指定した方向に回転させて保存する「回転保存」、上下または左右に２分割して保存する「分割保存」があります。スキャンを実行する前に「回転保存」や、「分割保存」の設定を行うことにより、スキャンした画像を効率よく処理することができます。「回転保存」および、「分割保存」の設定は、［スキャンメニュー］からスキャン方法を選択したとき、またはジョブの［新規 / 編集］ダイアログボックスの［詳細設定］ボタンをクリックしたときに表示される［設定］ダイアログボックスで行います。

また、スキャンした画像を保存するフォルダを特定し、特定したフォルダに対して保存できる容量を設定する「容量警告設定」があります。「容量警告」は、特定したフォルダの容量が、スキャン開始時にすでに設定した容量を超えていたとき　または、スキャン中に設定した容量を超えたときに警告メッセージを表示します。

回転保存の設定 ［回転保存の設定］［分割して保存］［容量警告設定］

回転保存は、読み取った画像を、左、または右に 90 度回転させて保存する機能です。

1 ［回転保存］チェックボックスをオンにします。

2 ［回転設定］ボタンをクリックします。
［回転保存の設定］ダイアログボックスが表示されます。

3 回転方向を選択し、［OK］をクリックします。
左に 90° 回転：スキャンした画像が反時計方向に 90° 回転されて保存されます。

右に 90° 回転：スキャンした画像が時計方向に 90° 回転されて保存されます。

180° 回転：スキャンした画像が 180° 回転されて保存されます。

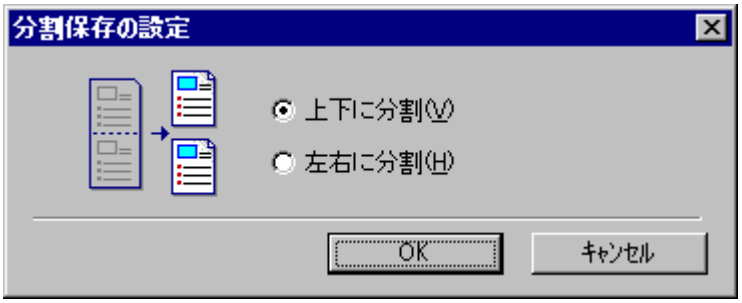
分割して保存 [回転保存の設定] ［分割して保存］ [容量警告設定]

画像の分割は、読み取った画像を、上下、または左右２つの画像に分割して保存する機能で、見開き２ページ分の画像などを２つの画像に分割して保存することができます。

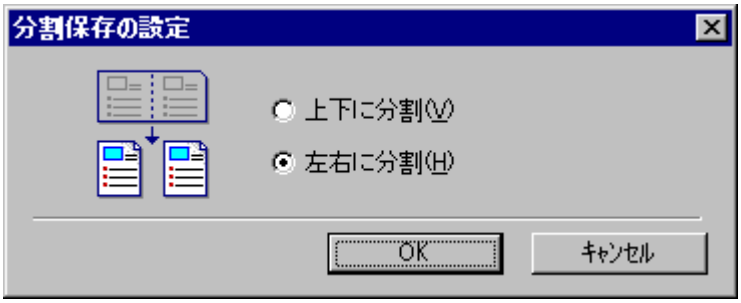
1 ［分割して保存］チェックボックスをオンにします。

2 ［分割設定］ボタンをクリックします。
［分割保存の設定］ダイアログボックスが表示されます。

3 分割方向を選択します。
上下に分割：スキャンした画像が上下に２分割されます。



左右に分割：スキャンした画像が左右に２分割されます。



メモ

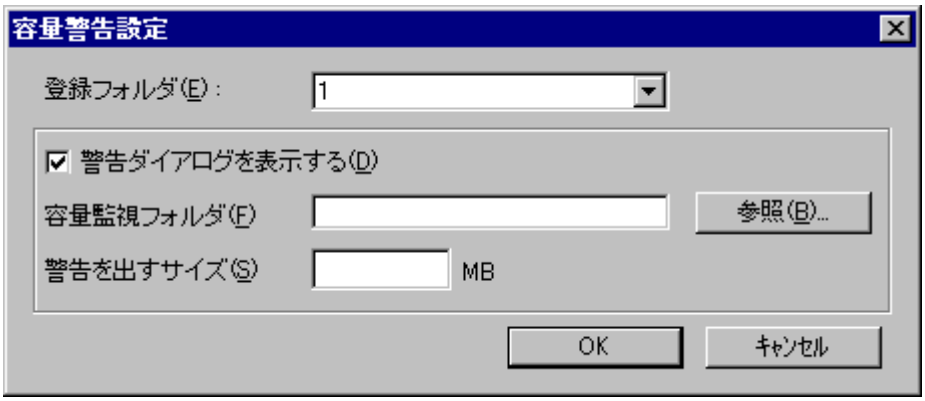
シングルページで保存する場合、分割された画像のファイル名は、上→下または、左→右の順にファイル名が付けられます。

容量警告設定 [回転保存の設定] [分割して保存] ［容量警告設定］

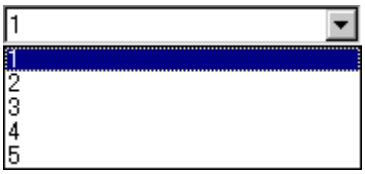
容量警告は、画像ファイルを保存するフォルダをあらかじめ特定しておき、特定したフォルダに対して保存できる容量を設定します。スキャン開始時または、スキャン中にファイルの総容量が設定したサイズを超えたときに警告メッセージを表示します。

1 ［オプション］メニューの［容量警告設定］を選択します。

［容量警告設定］ダイアログボックスが表示されます。



2 登録フォルダで、監視番号（1-5）を選択します。

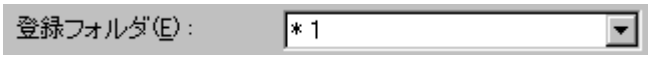


3 容量監視フォルダを指定します。

4 警告を出すサイズ（MB）を入力します。

5 [警告ダイアログボックスを表示する]チェックボックスをチェックします。

登録フォルダの監視番号に“＊”が付きます。



6 [OK]ボタンをクリックし、[容量警告設定]ダイアログボックスを閉じます。

メモ

- 容量警告設定が有効になっている場合、設定されたフォルダの中のファイルの総容量が設定サイズを超えていると、スキャン方法にかかわらずスキャン開始時に警告メッセージが表示されます。
- 隠しファイルやシステムファイルなど通常表示されていないファイルやフォルダは、容量警告設定では計算されません。
- 容量警告を設定できるフォルダは、最大５ヶ所のフォルダです。
- 警告が表示されたときは、メッセージに従い、そのまま継続するか、保存先を変更してスキャンを行ってください。

スキャン方法

CapturePerfect3.0 でスキャンする方法として、以下のスキャン方法があります。必要に応じてスキャン方法を選択します。

- スキャン 1 ページ（→ P. 38）：原稿を 1 ページのみスキャンします。スキャンした画像は必要に応じて保存または、印刷します。
- スキャンバッチファイル（→ P. 39）：スキャンした画像をスキャン開始時に指定したファイルに保存します。
- スキャンバッチプリント（→ P. 44）：スキャンした画像を指定したプリンタに直接印刷します。（スキャンした画像の保存は行われません。）
- スキャンバッチメール（→ P. 46）：スキャンした画像を電子メールに添付します。（スキャンした画像の保存は行われません。）
- スキャンバッチプレゼンモード（→ P. 49）：CapturePerfect ウィンドウを全画面表示にしてスキャンを行い、全画面表示のままスキャンした画像を表示します。（スキャンした画像の保存は、スキャンバッチプレゼンモード終了時に行います。）
- スキャンジョブ（→ P. 52）：スキャン条件およびスキャン後の処理方法をあらかじめジョブとして登録し、スキャン時は、登録したジョブを指定してスキャンを行います。（スキャンジョブは、ツールバーの操作で行います。）

スキャン１ページ

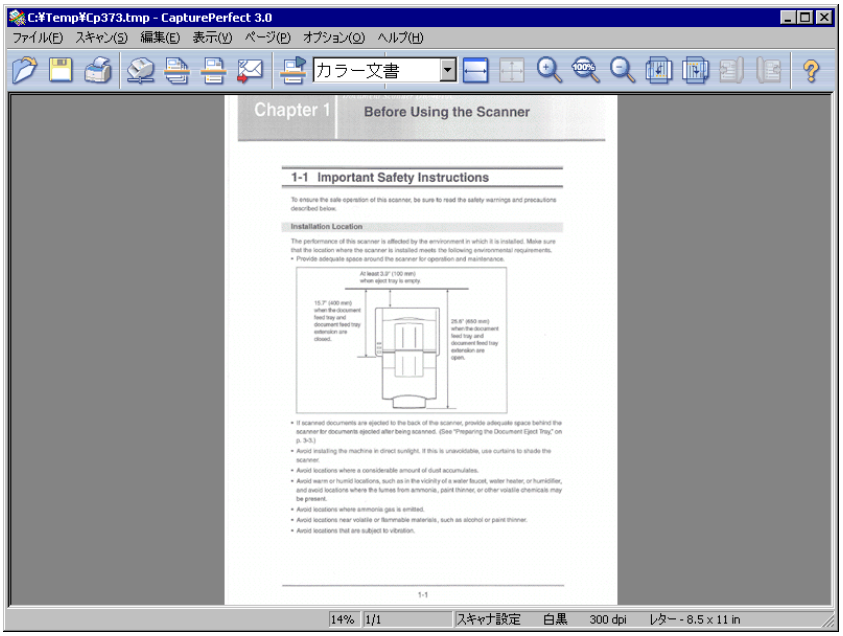
「スキャン１ページ」は、原稿を１ページのみスキャンして終了します。スキャンした表示されている画像は、必要に応じて「保存」または「印刷」を行ってください。画像を保存する（→ P. 60）、 画像を印刷する（→ P. 64）

1 ［ファイル］メニューの［スキャナ設定］を選択または ボタンをクリックし、スキャナの設定ダイアログボックスを開きます。

2 読み取り条件を設定します。
設定内容については、ダイアログボックスにある［ヘルプ］ボタンをクリックしてドライバのヘルプを参照してください。

3 原稿をセットします。原稿のセットについてはお使いのスキャナの取扱説明書を参照してください。

4 ボタンまたは[スキャン]メニューの[スキャン１ページ]を選択します。
原稿を１枚スキャンし、スキャンした画像を表示して終了します。



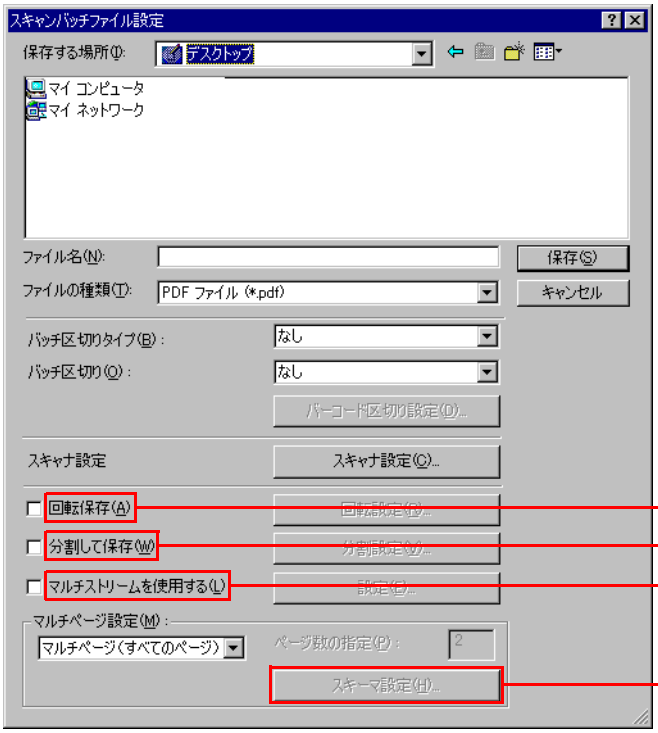
「スキャンバッチファイル」(スキャンした画像を指定したファイルに保存する)

「スキャンバッチファイル」は、スキャンした画像をスキャンを開始する前に指定したファイル形式、ファイル名で保存します。

「スキャンバッチファイル」は、次の手順で行います。

1 **ボタンまたは［スキャン］メニューの［スキャンバッチファイル］を選択します。**

［スキャンバッチファイル設定］ダイアログボックスが表示されます。



メモ

お使いのスキャナがマルチストリーム機能に対応していない場合、［マルチストリームを使用する］は表示されません。マルチストリーム機能について（→ P. 26）

2 **保存するファイル名とファイルの種類を選択します。**

メモ

スキャナ設定の［モード］で「24 ビットカラー」または「256 階調グレー」以外の読み取りモードが選択されている場合、JPEG 形式で保存することはできません。保存できるファイル形式について（→ P. 17）

3 **［スキャナ設定］ボタンをクリックし、読み取り条件を設定します。読み取り条件の設定(→ P. 15)**

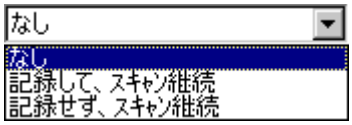
メモ

バッチ区切りを行うときは、読み取り条件の設定でバッチ区切りの設定を行ってください。

4 バッチ区切りタイプを選択します。

- ［バッチ区切り］では、スキャナの設定ダイアログボックスの［バッチ区切り］と同じ設定ができます。バーコードの読み取りに対応したスキャナの場合は、スキャナの設定ダイアログボックスの［バッチ区切り］の設定値に加えて「バーコード」が選択できます。「バーコード」を選択したときは、［バーコード区切り設定］ボタンが有効になり、クリックしてバーコードによるバッチ区切りを設定できます。バーコード区切り設定（→ P. 41）
- ［バッチ区切りタイプ］は、バッチ区切りを行うときに［なし］以外を選択します。お使いのスキャナがパッチコード検知またはバーコード検知に対応している／していないで選択肢が変わります。

スキャナがパッチコード検知またはバーコード検知に対応している場合

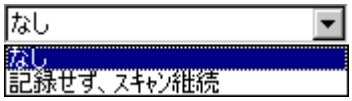


– なし
バッチ区切りを行いません。

– 記録して、スキャン継続
検知したパッチコードまたはバーコードの種類にかかわらず、パッチコードまたはバーコードを含むシートの画像を保存し、スキャンを継続します。

– 記録せず、スキャン継続
パッチコード "Patch II" またはバーコードを検知したときは、パッチコードまたはバーコードを含むシートの画像を保存し、スキャンを継続します。ただし、パッチコード "Patch T" を検知したときは、パッチコードを含むシートの画像の保存は行われません。

スキャナがパッチコード検知またはバーコード検知に対応していない場合



– なし
バッチ区切りを行いません。

– 記録せず、スキャン継続
バッチ区切りを行います。

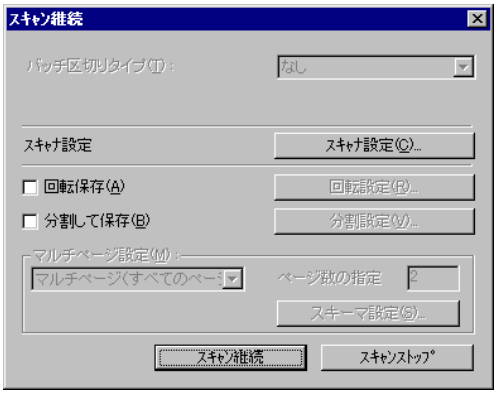
5 スキャンする原稿に合わせてその他の設定を行います。**その他の機能について（→ P. 33）**

6 原稿をセットします。原稿のセットのしかたはお使いのスキャナの取扱説明書を参照してください。

7 [保存]ボタンをクリックします。

原稿がスキャンされます。

スキャナに原稿がなくなるとスキャンが中断され、[スキャン継続] ダイアログボックスが表示されます。



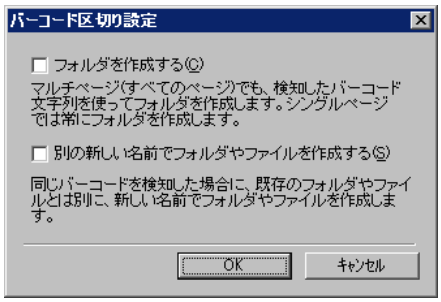
メモ

- 指定したファイル名と同じ名前のファイルがある場合は、既存のファイルへの上書きを確認するダイアログボックスが表示されます。[OK] ボタンをクリックすると、ファイルが上書きされます。
- [スキャン] メニューの [スキャン継続ダイアログを使用する] を無効にしている場合（項目の先頭にチェックマークがない場合）は、スキャナに原稿がなくなったところでスキャンが終了します。

8 スキャンを継続する場合は、スキャナに原稿をセットしてから、[スキャン継続]をクリックします。スキャンを終了する場合は、[スキャンストップ]をクリックします。

バーコード区切り設定

[バッチ区切り] で「バーコード」を選択すると、[バーコード区切り設定] ボタンが有効になります。このボタンをクリックすると、[バーコード区切り設定] ダイアログボックスが表示され、バーコードを使用したバッチ区切りの設定ができます。



このダイアログボックスには、次の設定項目があります。

- [フォルダを作成する]
  マルチページでスキャンした場合に、検知したバーコードでフォルダを作成するかどうかを指定します。このチェックボックスをオンにすると、スキャン時にバーコードが検知されたときに、そのバーコードの文字列でフォルダを作成し、その中にスキャン画像保存します。
- [別の新しい名前でフォルダやファイルを作成する]
  同一のバーコードが検知されたときの動作を指定します。
  このチェックボックスをオンにすると、スキャン時に既出と同じバーコードが検知されたときに、別のフォルダ（または別のファイル）にスキャン画像を保存します。

たとえば、次のような原稿をスキャンするときは、［スキャンバッチファイル］ダイアログボックスの［マルチページ設定］の設定内容に応じて、次のようにバッチが区切られます。

バーコード文字列：2 ページおきに January、February、March、January の順にバーコードを挿入

ファイル名：imageXXXX

ファイル形式：TIFF 形式

［マルチページ設定］が「シングルページ」のとき

［フォルダを作成する］の設定にかかわらず、常にバーコード文字列と同じ名前のフォルダが作成されます。

［別の新しい名前でフォルダやファイルを作成する］をオンにした場合、2 回目のバーコードで区切られたスキャン画像は、1 回目のバーコード文字列に自動的に連番が付加されたフォルダ（下記の例の場合は January_0001 フォルダ）に保存されます。

	［フォルダを作成する］オフ	［フォルダを作成する］オン
［別の新しい名前でフォルダやファイルを作成する］オフ	January¥image0001.tif January¥image0002.tif February¥image0001.tif February¥image0002.tif March¥image0001.tif March¥image0002.tif January¥image0003.tif January¥image0004.tif	
［別の新しい名前でフォルダやファイルを作成する］オン	January¥image0001.tif January¥image0002.tif February¥image0001.tif February¥image0002.tif March¥image0001.tif March¥image0002.tif January_0001¥image0001.tif January_0001¥image0002.tif	

［マルチページ設定］が「マルチページ」のとき

マルチページでスキャンした画像のファイルには、ファイル名として指定された文字列の後にバーコード文字列が付加されます。

［別の新しい名前でフォルダやファイルを作成する］をオフにした場合、同じバーコード（January）で区切られたページは、同一のファイルに追加して保存されます。下記の例では、1 ～ 2 ページのスキャン画像のファイルに 7 ～ 8 ページのスキャン画像が追加されます。

［別の新しい名前でフォルダやファイルを作成する］をオンにした場合、2 回目のバーコードで区切られたスキャン画像は、同じバーコードで直前に区切られたファイルに自動的に連番が付加されたファイル（下記の例の場合は imageJanuary_0001.tif）またはフォルダ（下記の例の場合は January_0001 フォルダ）に保存されます。

	[フォルダを作成する] オフ	[フォルダを作成する] オン
[別の新しい名前でフォルダやファイルを作成する] オフ	imageJanuary.tif imageFebruary.tif imageMarch.tif	January¥imageJanuary.tif February¥imageFebruary.tif March¥imageMarch.tif
[別の新しい名前でフォルダやファイルを作成する] オン	imageJanuary.tif imageFebruary.tif imageMarch.tif imageJanuary_0001.tif	January¥imageJanuary.tif February¥imageFebruary.tif March¥imageMarch.tif January_0001¥imageJanuary.tif

メモ

- 原稿の同じページに 2 つ以上のバーコードがあった場合は、左上隅に近いバーコードを先頭にしたすべてのバーコード文字列がスペース区切りでファイル名に適用されます。
- [別の新しい名前でフォルダやファイルを作成する] オフにし、マルチページでスキャンした場合に、保存されるスキャン画像と同名のファイルがすでにあったときは、そのファイルにスキャン画像が追加されます。たとえば上記の例では、imageJanuary.tif がすでに存在した場合、バーコード文字列「January」で区切られたスキャン画像は既存の imageJanuary.tif に追加されます。

「スキャンバッチプリント」(スキャンした画像を印刷する)

「スキャンバッチプリント」は、スキャンした画像を指定したプリンタに直接印刷します。「スキャンバッチプリント」ではスキャンした画像の保存は行われません。

メモ

スキャンした画像の保存と印刷を行う場合には、「スキャンバッチファイル（→ P. 39)」で画像を保存したあとに印刷を行ってください。

「スキャンバッチプリント」は、次の手順で行います。

1 ［ファイル］メニューの［プリント形式］を選択し、プリント形式を選択します。

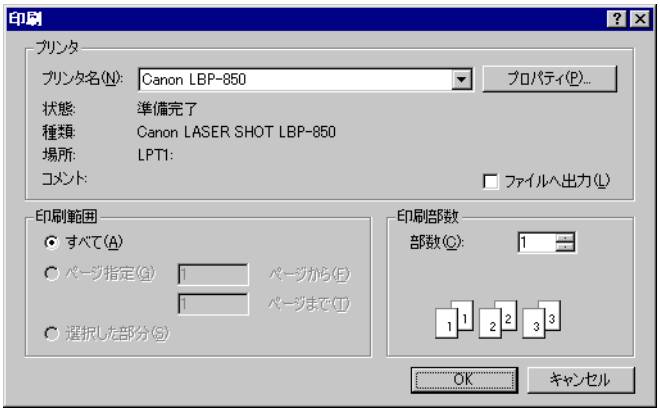
- ［実寸に合わせる］
  印刷する用紙や読み込んだ解像度に拘わらず、原稿と同じサイズで印刷されます。
- ［用紙に合わせる］
  画像を用紙サイズに合わせて拡大 / 縮小印刷します。
- ［画素単位に出力］
  読み込んだ画像の 1 ドットがプリンタの 1 ドットになるように印刷されます。そのためドットの小さい高解像度のプリンタで印刷する場合、プリントサイズは小さくなります。

2 [スキャン]メニューの[スキャンバッチプリント]を選択します。

［スキャンバッチプリント設定］ダイアログボックスが表示されます。

3 [プリンタ設定]をクリックして､使用するプリンタの設定を行います。

[印刷] ダイアログボックスが表示されます。



メモ

プリンタの詳細な設定を行う場合は、[プロパティ] ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスは、ご使用のプリンタドライバによって異なります。設定の詳細は、ご使用のプリンタドライバの説明書を参照してください。

4 [スキャナ設定]で読み取り条件を設定します。

設定内容については、ダイアログボックスにある [ヘルプ] ボタンを押してドライバのヘルプを参照してください。

5 原稿をセットします。

6 [OK]をクリックします。

原稿がスキャンされ、しばらくするとスキャンされた画像の印刷が開始されます。

「スキャンバッチメール」(スキャンした画像を電子メールに添付する)

「スキャンバッチメール」は、スキャンした画像を電子メールの送信メールに添付します。「スキャンバッチメール」ではスキャンした画像の保存は行われません。

メモ

- 「スキャンバッチメール」を行うには、MAPI(Microsoft Messaging Application Programming Interface)に対応した電子メールアプリケーションソフトウェアがコンピュータにインストールされている必要があります。
- あらかじめ、起動する電子メールアプリケーションソフトウェアを、スタートメニューの［設定］→［コントロールパネル］→［インターネットオプション］→［プログラム］タブ→［電子メール］で設定しておいてください。(Windows 98 の例です。お使いのオペレーティングシステムの操作方法にしたがって設定してください。)

スキャンした画像を送信メールに添付するには、次のように操作します。

1 **ボタンまたは、［ファイル］メニューの［スキャンバッチメール］を選択します。**

［スキャンバッチメール設定］ダイアログボックスが表示されます。

2 **保存するファイル名とファイルの種類を選択します。**

メモ

スキャナ設定の［モード］で「24 ビットカラー」または「256 階調グレー」以外の読み取りモードが選択されている場合、ファイルの種類に「jpg」は表示されません。保存できるファイル形式について（→ P. 17）

3 **［スキャナ設定］で読み取り条件を設定します。**

設定内容については、ダイアログボックスにある［ヘルプ］ボタンをクリックしてドライバのヘルプを参照してください。

4 スキャンする原稿に合わせてその他の設定を行います。

5 原稿をセットします。原稿のセットのしかたはお使いのスキャナの取扱説明書を参照してください。

6 [OK]ボタンをクリックします。

原稿がスキャンされます。

スキャナに原稿がなくなるとスキャンが中断され、［スキャン継続］ダイアログボックスが表示されます。

メモ

［スキャン］メニューの［スキャン継続ダイアログを使用する］を無効にしている場合（項目の先頭にチェックマークがない場合）は、スキャナに原稿がなくなったところでスキャンが終了します。手順 8 に進んでください。

7 スキャンを継続する場合は、スキャナに原稿をセットしてから、[スキャン継続]をクリックします。スキャンを終了する場合は、[スキャンストップ]をクリックします。

8 スキャンを終了すると、スキャンした画像ファイルが新規送信メールの添付ファイルになります。
画像ファイルが添付された状態で、電子メールアプリケーションソフトウェアが起動します。

Microsoft Outlook Express の例です。

9 宛先、件名、本文を必要に応じて入力し、[送信]ボタンをクリックして電子メールを送信します。電子メールの送信方法の詳細は、ご使用の電子メールアプリケーションソフトウェアの説明書を参照してください。

「スキャンバッチプレゼンモード」(スキャンした画像を全画面表示で表示する)

「スキャンバッチプレゼンモード」は、スキャンした画像を全画面表示で画面に表示します。プレゼンテーションの会場など大型ディスプレィやプロジェクタとコンピュータが接続された環境で使用することにより、原稿をスキャンすると同時にディスプレイに表示させて説明することができます。

「スキャンバッチプレゼンモード」は、次のように操作します。

原稿の読み取り

1 [スキャン]メニューの[スキャンバッチプレゼンモード]を選択します。

CapturePerfect ウィンドウが全画面表示になり、スキャンバッチプレゼンモードを開始します。

2 メッセージに従い原稿をセットします。

下記の読み取り条件で原稿がスキャンされます。

読み取り条件

設定項目	設定値
モード	24 ビットカラー
読み取りサイズ	自動検知
解像度	200 dpi
読み取り面	白紙をスキップする
給紙オプション	自動給紙
文字向き検知	有効
斜行補正	有効

メモ

- 「スキャンバッチプレゼンモード」では、ISIS ドライバの設定にかかわらず、上記の読み取り条件でスキャンされます。
- スキャナによっては、上記の読み取り条件をサポートしていない場合もあります。
- 「白紙をスキップする」の、「黒い点の割合」の設定は、ISIS ドライバの設定が反映されます。

3 セットした原稿がなくなると、スキャンを中断します。

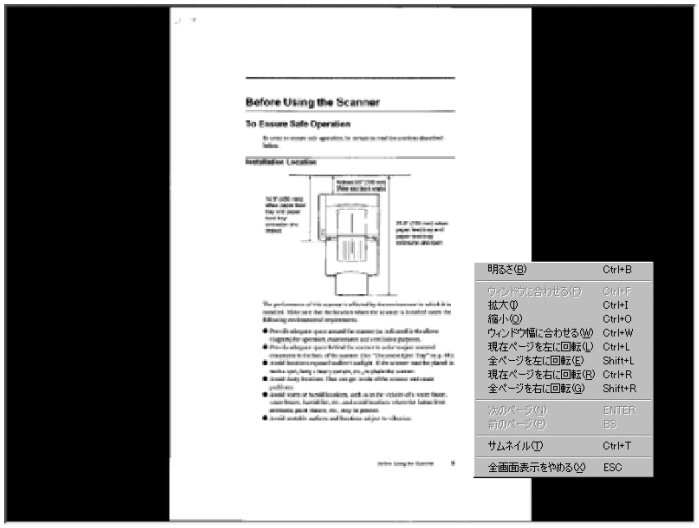
4 スキャンを続けるときは、原稿をセットします。スキャンを終了するときは、右上の[×]をクリックします。

メモ

- キーボードの ESC キーを押すとスキャンバッチプレゼンモードが終了します。
- 読み取った画像は、スキャンバッチプレゼンモードを終了する際に、必要に応じて保存を行います。

全画面表示中の画面の操作

全画面表示されている画面の操作は、マウスの右ボタンをクリックしたときに表示されるサブメニューまたは、サブメニューの各項目に割り当てられたショートカットキーの操作により行います。



サブメニューに表示される機能と、ショートカットキーは以下の通りです。

サブメニュー	ショートカットキー
明るさ	Ctrl + B
ウィンドウに合わせる	Ctrl + F
拡大	Ctrl + I
縮小	Ctrl + O
ウィンドウ幅に合わせる	Ctrl + W
現在ページを左に回転	Ctrl + L
全ページを左に回転	Shift + L
現在ページを右に回転	Ctrl + R
全ページを右に回転	Shift + R
次のページ	ENTER
前のページ	BS
サムネイル	Ctrl + T
スキャンバッチプレゼンモードの終了 または、全画面表示をやめる	ESC

スキャンバッチプレゼンモードの終了

スキャンバッチプレゼンモードは、キーボードの［ESC］キーまたは、サブメニューの［スキャンバッチプレゼンモードの終了］で終了します。

スキャンバッチプレゼンモードの終了を選択すると、画像ファイルの保存のメッセージが表示されます。必要に応じて画像ファイルを保存してください。

「スキャンジョブ」(あらかじめ登録したジョブを指定してスキャンをおこなう)

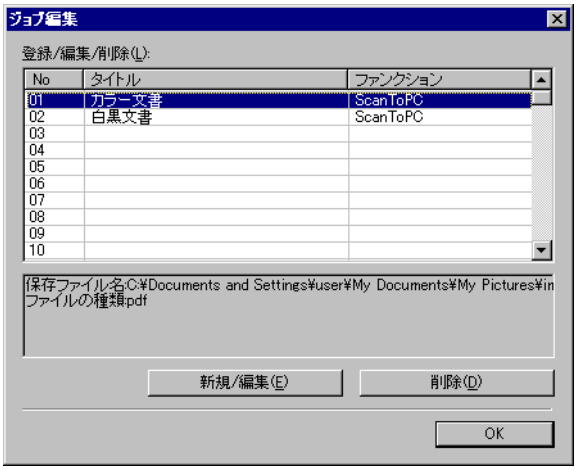
「スキャンジョブ」は、読み取り条件およびスキャン方法（スキャンバッチファイル / スキャンバッチプリント / スキャンバッチメール）をあらかじめジョブに登録し、スキャン時は、登録したジョブを指定してスキャンを行います。

ジョブの登録

「スキャンジョブ」で使用するジョブを以下の手順で登録します。

1 ［編集］メニューの［ジョブ］を選択します。

［ジョブ編集］ダイアログボックスが表示されます。



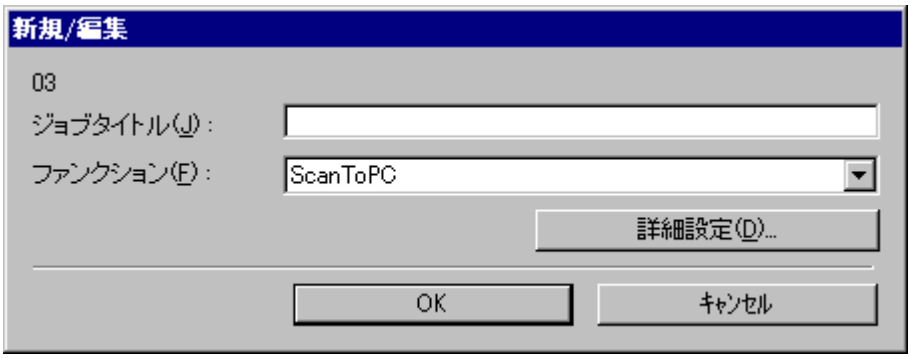
メモ

ジョブ番号 01 および 02 には、あらかじめ以下のジョブが登録されています。

ジョブ番号	ジョブタイトル	ジョブの種類
01	カラー文書	ScanToPC
02	白黒文書	ScanToPC

2 ジョブを登録する[No.] を選択し、[新規 / 編集]をクリックします。

［新規 / 編集］ダイアログボックスが表示されます。



3 [ジョブタイトル]を入力します。

メモ

ジョブタイトルに使用できる文字は、半角英数カナで最大 64 文字、全角で最大 32 文字です。

4 [ファンクション]をリストボックスから指定します。

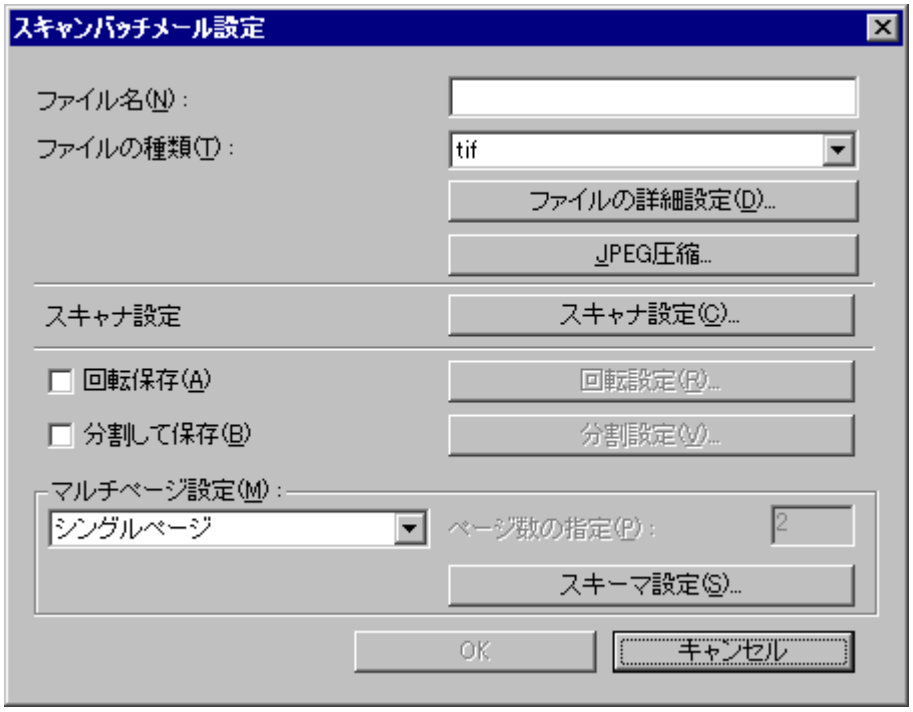
- ［ScanToPC］：スキャンした画像を指定した ＰＣ に保存します。
- ［ScanToMail］：スキャンした画像を電子メールに添付して送信します。
- ［ScanToPrint］：スキャンした画像を指定したプリンタで印刷します。

5 [詳細設定]をクリックします。

指定したファンクションに合わせて設定ダイアログボックスが表示されます。

- ［ScanToPC］：設定の詳細については、スキャンバッチファイル（→ P. 39）を参照してください。

- ［ScanToMail］：設定の詳細については、スキャンバッチメール（→P. 46）を参照してください。



- ［ScanToPrint］：設定の詳細については、スキャンバッチプリント（→P. 44）を参照してください。

メモ

［スキャンバッチファイル設定］、［スキャンバッチメール設定］ダイアログボックスには［ファイルの詳細設定］ボタンと［JPEG 圧縮］ボタンが表示されます。このボタンは、［ファイルの種類］で「bmp ファイル（*.bmp）」以外を選択したときに有効になり、ジョブごとにファイル形式別の設定ができます。ファイル形式別の設定（→P. 17）

6 ［OK］ボタン（ScanToPC の場合は［保存］ボタン）をクリックし、設定ダイアログボックスを閉じます。

登録した内容は、［ジョブ編集］ダイアログボックスに表示されます。

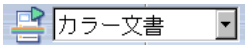
7 [OK]ボタンをクリックし、ジョブ編集ダイアログボックスを閉じます。

メモ

- ジョブは最大 99 個登録することができます。
- 登録されているジョブの内容を変更するときは、ジョブを選択し、［新規 / 編集］ボタンをクリックします。
- 登録したジョブを削除するときは、削除するジョブをクリックし、［削除］ボタンをクリックします。

スキャンジョブの実行

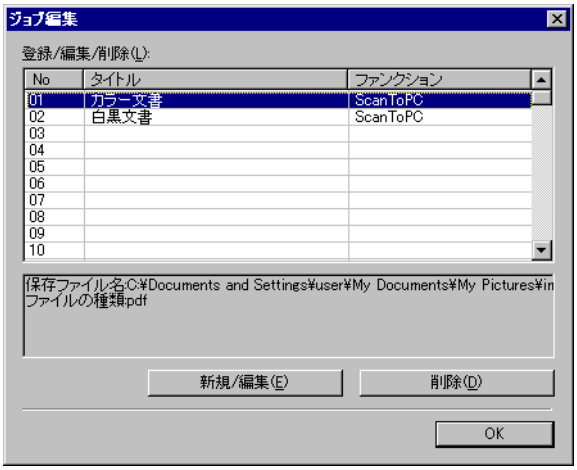
1 ［編集］メニューの［ジョブ］で、ジョブを登録します。**ジョブの登録（→ P. 52）**

2 ツールバーにあるリストボックス 

から、ジョブタイトルを選択します。

メモ

- リストボックスには、［ジョブ編集］ダイアログボックスで反転表示されているジョブタイトルが表示されます。



- ジョブの登録内容については、［編集］メニューの［ジョブ登録］から確認します。

3 原稿をセットします。原稿のセットについてはお使いのスキャナの取扱説明書を参照してください。

4 [スキャン]メニューの[スキャンジョブ]を選択または、 **ボタンをクリックすると、ジョブに登録された条件でスキャンを行います。**

スキャンした画像の操作

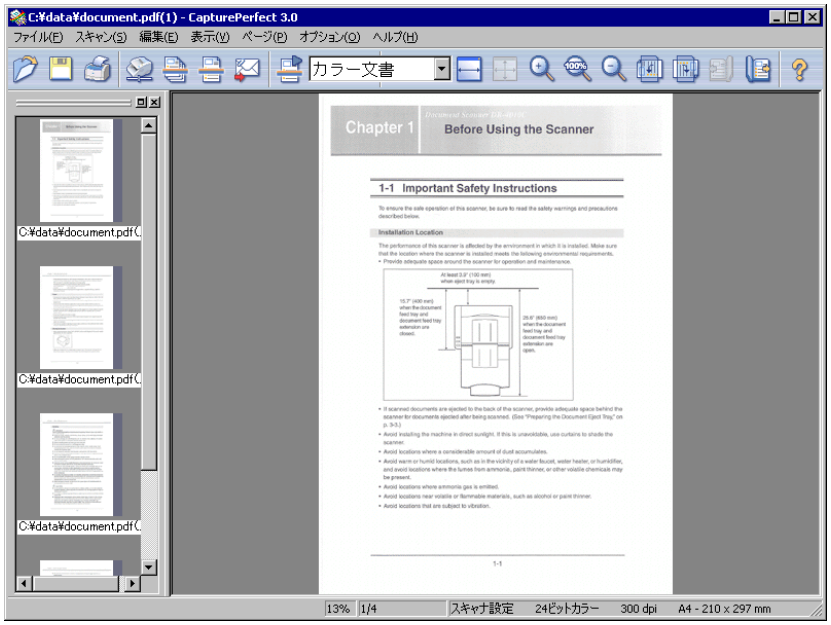
スキャンした画像や開いた画像に対してできる操作について説明します。スキャンした画像は、表示のしかたを変更したり、名前を付けて保存したり、印刷することができます。

- サムネイルウィンドウを表示する（→ P. 57）：サムネイルウィンドウを表示します。
- ウィンドウを分割する（→ P. 58）：表示ウィンドウを２画面または４画面に分割します。
- 画像を保存する（→ P. 60）：表示されている画像を保存します。
- 画像ファイルを開く（→ P. 62）：保存されている画像を開きます。
- 画像を印刷する（→ P. 64）：表示されている画像を印刷します。
- 開いている画像の明るさを調整する（→ P. 66）：開いている画像の明るさを調整します。
- 画像ファイルにページを挿入 / 追加する（→ P. 67）：開いている画像ファイルにページを追加します。
- 画像ファイルのページを差し替える（→ P. 70）：開いている画像ファイルのページを指定した画像に差し替えます。
- PDF ファイルにセキュリティを設定する（→ P. 73）：PDF ファイルにファイルの閲覧、印刷を制限するセキュリティを設定します。

サムネイルウィンドウを表示する

サムネイルウィンドウには、開いている画像の縮小画像が表示され、サムネイルウィンドウで選択された縮小画像が表示ウィンドウに表示されます。

サムネイルウィンドウの表示 / 非表示は、［表示］メニューの［サムネイル］で行います。



メモ

- CapturePerfect の終了時にサムネイルウィンドウの表示 / 非表示が保持され、CapturePerfect を再起動させたときには、前回終了時の状態で起動します。
- 全画面表示のときに右ボタンで表示されるサブメニューにある［サムネイル］をクリックすると、全画面表示の状態でサムネイルウィンドウが表示されます。

ウィンドウを分割する

表示ウィンドウを、分割させることにより、複数ページの画像を同時に表示させることができます。
表示ウィンドウの分割は、［表示］メニューの［画面の分割］で行い、2 画面、4 画面に分割できます。

重要

画面を分割表示させる場合、表示させる画像のサイズまたは、分割させる画面の数によってはメモリ不足が発生する場合があります。メモリ不足が発生する場合には、画面分割は使用しないでください。

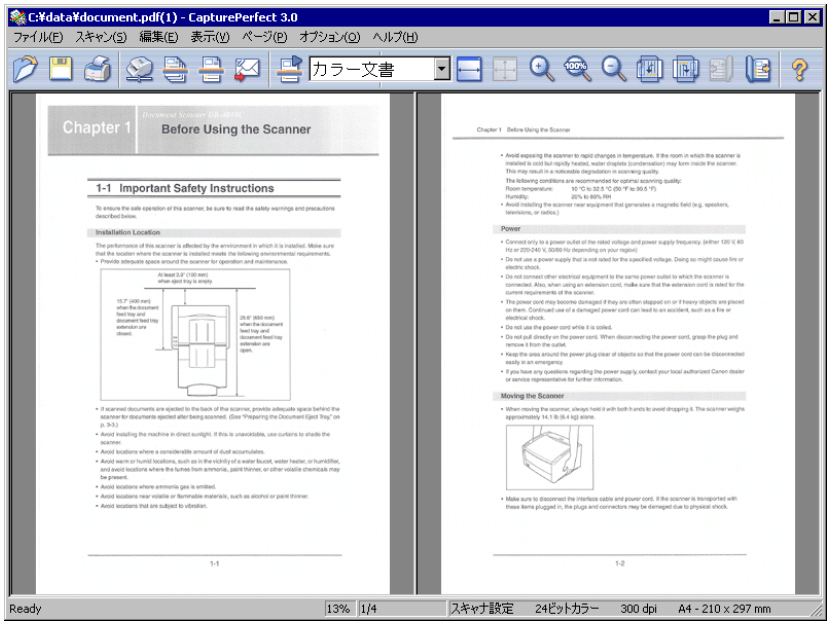
メモ

- 分割された画面は、左から右の順に画像が表示されます。
- 画面を分割した状態でスキャンすることができます。
- 画像表示方法の変更（拡大、縮小、回転など）は、分割した画面ごとに変更できます。
- 分割した画面を 1 画面に戻す場合は、［表示］メニューの［画面の分割］で 1 画面を指定します。
- CapturePerfect の終了時にウィンドウの分割状態が保持され、CapturePerfect を再起動させたときには、前回終了時の分割状態で起動します。
- ウィンドウを分割した状態で CapturePerfect を終了させた場合、CapturePerfect を再起動させたときにメモリ不足が発生する可能性がある旨のメッセージが表示されます。メッセージの内容を確認の上、画面分割を使用してください。

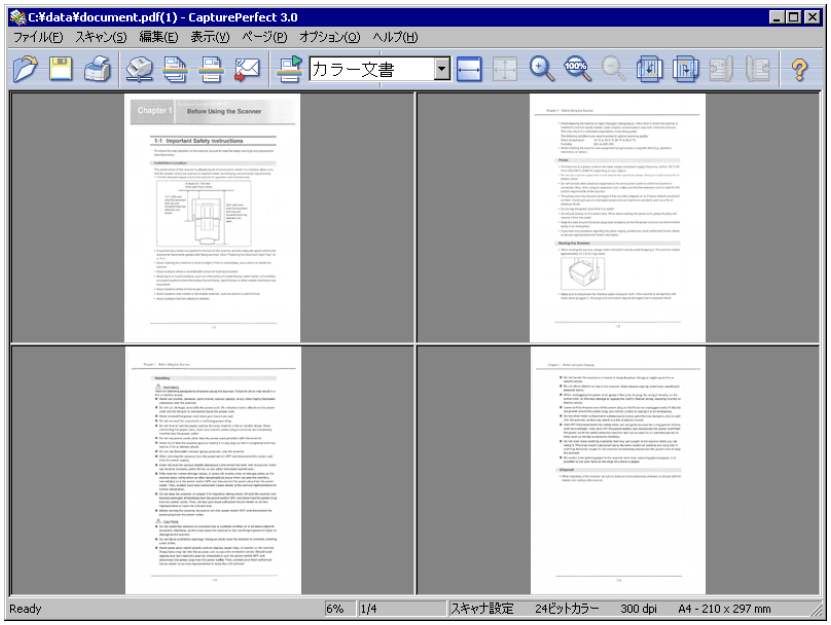
2 画面､4 画面に分割する

ウィンドウを 2 画面または 4 画面に分割する場合は、［表示］メニューの［画面の分割］を選択し、サブメニューから分割させる数を指定します。

2 分割画面


C:¥data¥document.pdf(1) - CapturePerfect 3.0
ファイル(F) スキャン(S) 編集(E) 表示(V) ページ(P) オプション(O) ヘルプ(H)
カラー文書
Chapter 1
Before Using the Scanner
1-1 Important Safety Instructions
Ready
13%
1/4
スキャナ設定
24ビットカラー
300 dpi
A4 - 210 x 297 mm

4 分割画面


C:¥data¥document.pdf(1) - CapturePerfect 3.0
ファイル(F) スキャン(S) 編集(E) 表示(V) ページ(P) オプション(O) ヘルプ(H)
カラー文書
Ready
6%
1/4
スキャナ設定
24ビットカラー
300 dpi
A4 - 210 x 297 mm

画像を保存する

開いている画像ファイルに名前を付けて保存します。

メモ

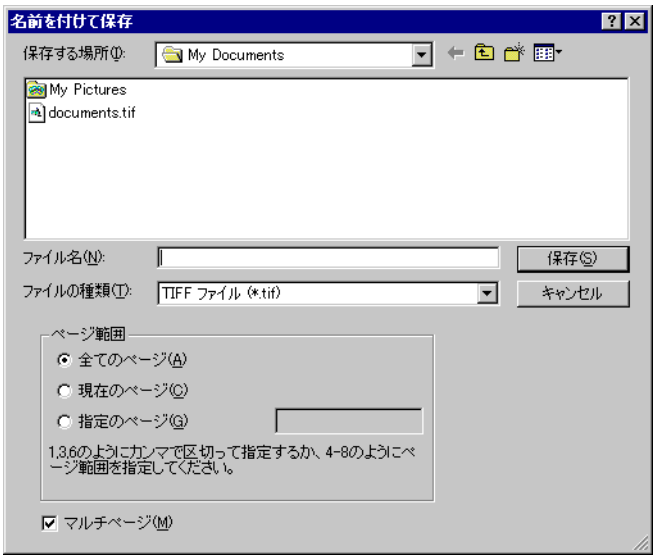
複数の画像ファイルが開いている場合、すべてのページが保存の対象になります。

重要

複数の画像ファイルが開いている中に、セキュリティが設定されている PDF ファイルが含まれていると、名前を付けて保存することはできません。

1 ツールバーの（ページに名前を付けて保存）ボタンをクリックします。（または、［ファイル］メニューの［ページに名前を付けて保存］を選択します。）

［ファイル保存］ダイアログボックスが表示されます。



2 以下の設定を行います。

- ［保存する場所］
  ファイルを保存するフォルダを選択します。
- ［ファイル名］
  画像ファイルの名前を入力します。
- ［ファイルの種類］
  画像ファイルの種類を「TIFF ファイル（＊ .tif）」、「BMP ファイル（＊ .bmp）」、「JPEG ファイル（＊ .jpg）」、「PDF ファイル（＊ .pdf）」から選択します。保存できるファイルの種類はスキャナ設定時に指定した読み取りのモードによって異なります。詳細は、「保存される画像ファイルについて（→ P. 17）」を参照してください。

  メモ

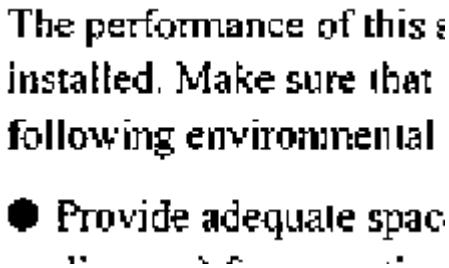
  – 「PDF ファイル（＊ .pdf）」を選択した場合は、［オプション］メニューの［PDF ファイル］で設定した圧縮率などが適用されます。詳細は、「PDF ファイルの保存方法を設定する（→ P. 19）」を参照してください。

– 「JPEG ファイル（＊ .jpg）」を選択した場合は、［オプション］メニューの［JPEG 圧縮］で設定されている画像の品質が適用されます。詳細は、「JPEG 圧縮を設定する（→ P. 20）」を参照してください。

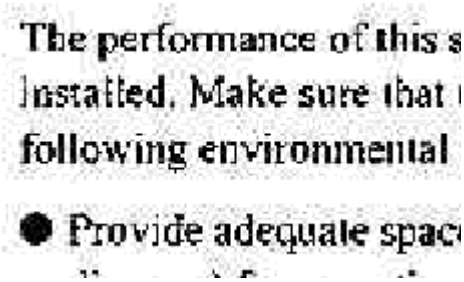
重要

開いている画像ファイルが白黒画像の場合、「JPEG ファイル（＊ .jpg）」を選択するとグレースケール画像で保存されます。

元画像（白黒）



JPEG で保存した画像（グレースケール）



3 複数ページの画像ファイルを保存する場合、保存するページ範囲を設定します。

メモ

セキュリティが設定されている「PDF ファイル（＊ .pdf）」の場合、［現在のページ］、［指定のページ］は、無効になります。

4 複数ページの画像ファイルを 1 つの画像ファイルに保存する場合、[マルチページ]チェックボックスをオンにします。

メモ

［マルチページ］チェックボックスがオフの場合、1 ページ毎に画像ファイルが分割され、保存される画像ファイルに 4 桁の連番が付加されます。ただし、保存される画像ファイルが 1 ページのみの場合、4 桁の連番は付加されません。

5 [保存]ボタンをクリックします。

［ファイル保存］ダイアログボックスが閉じ、画像が保存されます。

画像ファイルを開く

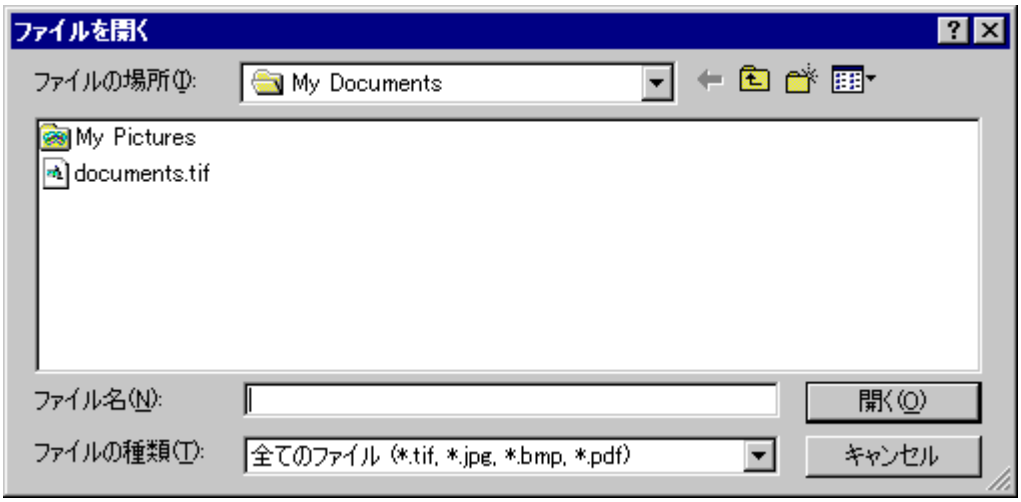
CapturePerfect で保存した画像ファイルを開きます。

メモ

開くことのできる画像ファイルは、CapturePerfect で保存した TIFF ファイル（＊ .tif）、BMP ファイル（＊ .bmp）、JPEG ファイル（＊ .jpg）、PDF ファイル（＊ .pdf）の４種類です。

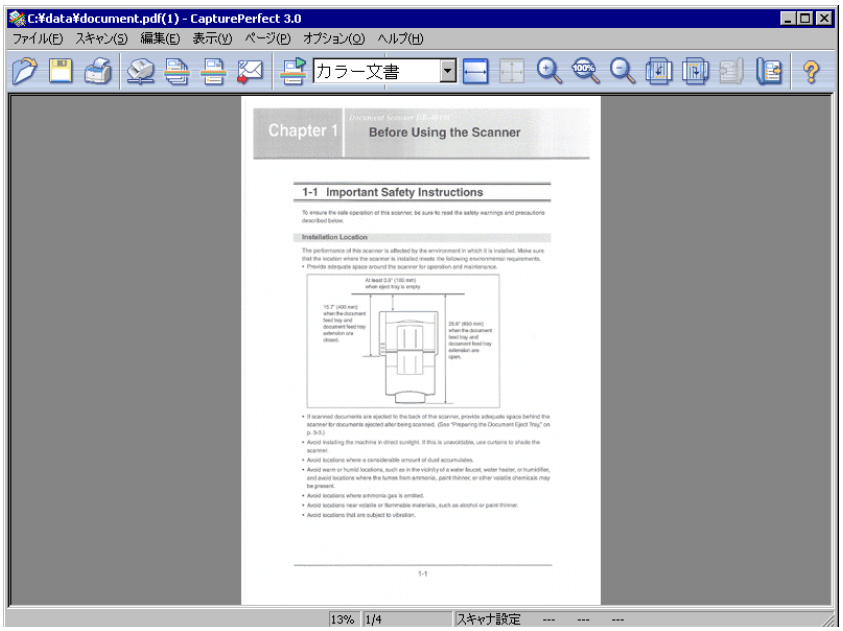
1 ツールバーの ボタンをクリックします。（または、［ファイル］メニューの［開く］を選択します。）

［ファイルを開く］ダイアログボックスが表示されます。



2 ファイルを選択し、[開く]ボタンをクリックします。

選択した画像ファイルが画面に表示されます。



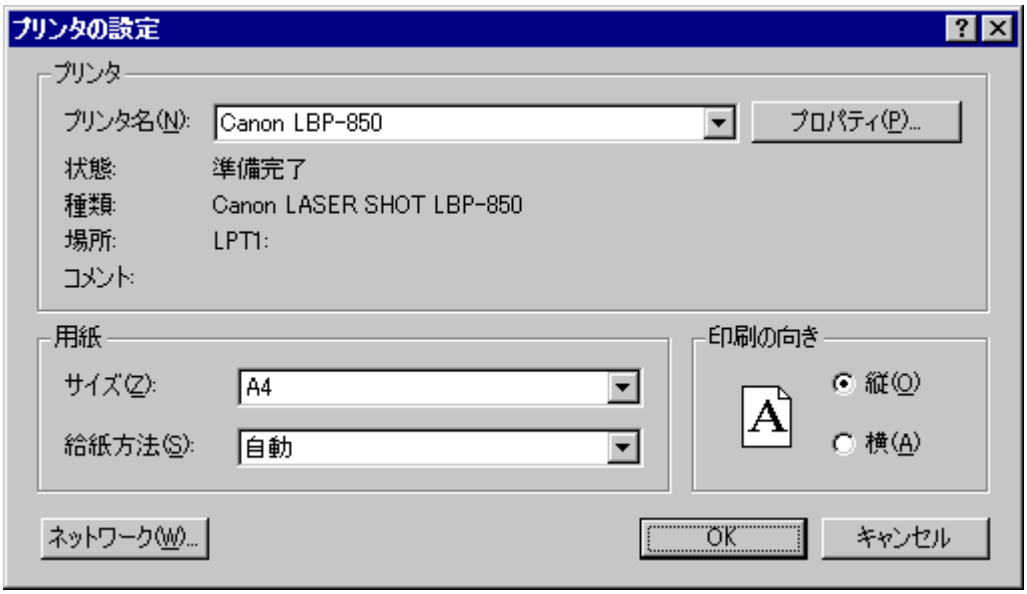
メモ

複数のファイルを選択してまとめて一度に開くことができます。Shift キーを押しながら、最初と最後のファイル名をクリックすると、その間にあるすべてのファイルが選択されます。また、Ctrl キーを押しながらファイル名をクリックすると、任意のファイルを選択することができます。

画像を印刷する

ウィンドウに表示されている画像を印刷するには、次のように操作します。

1 ［ファイル］メニューの［プリンタの設定］を選択します。
［プリンタの設定］ダイアログボックスが表示されます。



2 必要に応じて、プリンタ、用紙、印刷の向きを設定し、[OK]ボタンをクリックします。

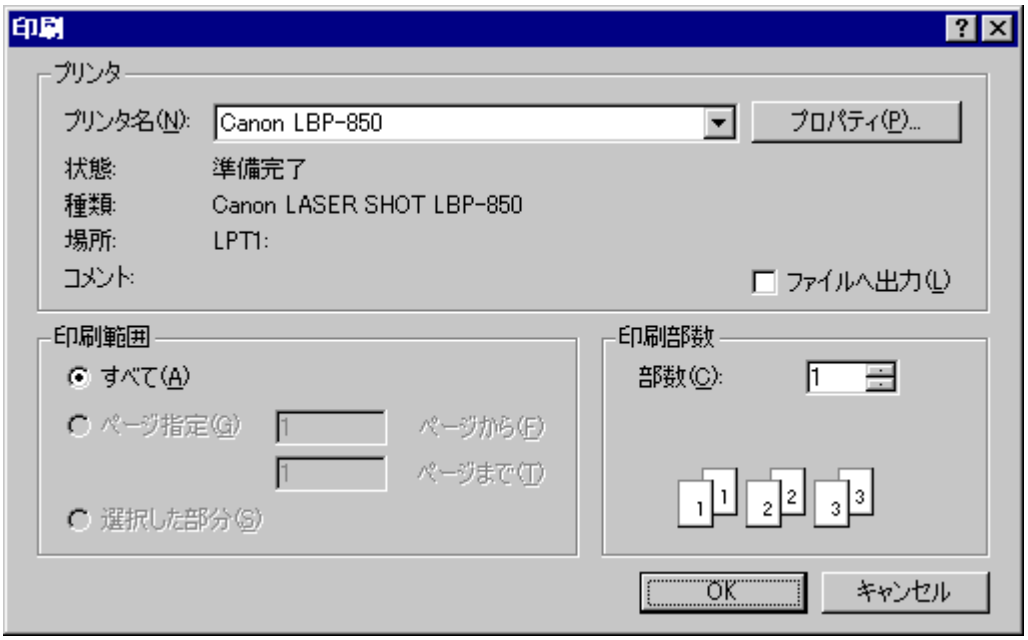
メモ
プリンタの詳細な設定を行う場合は、［プロパティ］ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスは、ご使用のプリンタドライバによって異なります。設定の詳細は、ご使用のプリンタドライバの説明書を参照してください。

3 [ファイル]メニューの[プリント形式]を選択し、表示されたサブメニューから目的のプリント形式を次の中から選択します。

- ［実寸に合わせる］
  印刷する用紙や読み込んだ解像度にかかわらず、原稿と同じサイズで印刷されます。
- ［用紙に合わせる］
  画像を用紙サイズに合わせて拡大 / 縮小印刷します。
- ［画素単位に出力］
  読み込んだ画像の 1 ドットがプリンタの 1 ドットになるように印刷されます。そのためドットの小さい高解像度のプリンタで印刷する場合、プリントサイズは小さくなります。

4 ツールバーの ボタンをクリックします。(または、[ファイル]メニューの[プリント]を選択します。)

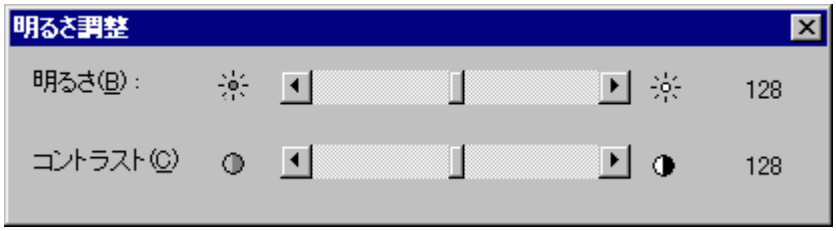
[印刷] ダイアログボックスが表示されます。



5 設定内容を確認し、[OK]ボタンをクリックします。

開いている画像の明るさを調整する

ウィンドウに表示中の画像の明るさとコントラストを調整することができます。
明るさの調整を行うには、［編集］メニューの［明るさ］を選択して［明るさ調整］ダイアログボックスを表示させます。



スライダを左右に動かすと、表示されている画像の明るさとコントラストが調整されます。

メモ

- グレースケールおよびカラー画像の場合、調整した明るさで画像ファイルを保存しなおすことができます。
- 白黒画像の場合、グレースケール表示（[1 対 1］表示以外）のときに画像の明るさを調整することができます。但し、調整した明るさで画像を保存することはできません。
- 明るさは各ページごとに調整することができます。
- PDF ファイルを表示している場合、調整した明るさで画像を保存することはできません。

画像ファイルにページを挿入 / 追加する

TIFF ファイル（＊ .tif）または、PDF ファイル（＊ .pdf）にページを挿入 / 追加します。
挿入 / 追加する画像は、スキャナからの読み取り、または CapturePerfect で保存したファイルを指定します。

1 TIFF ファイル（＊ .tif）または、PDF ファイル（＊ .pdf）を開きます。

メモ

- BMP ファイル（＊ .bmp）または、JPEG ファイル（＊ .jpg）ファイルにはページの追加はできません。
- BMP ファイル（＊ .bmp）または、JPEG ファイル（＊ .jpg）ファイルで保存されている画像にページを追加する場合には、TIFF（＊ .tif）または、PDF（＊ .pdf）形式で保存しなおしてからページの追加を行ってください。

2 [ページ]メニューの[ページ挿入 / 追加]をクリックし、サブメニューを開きます。

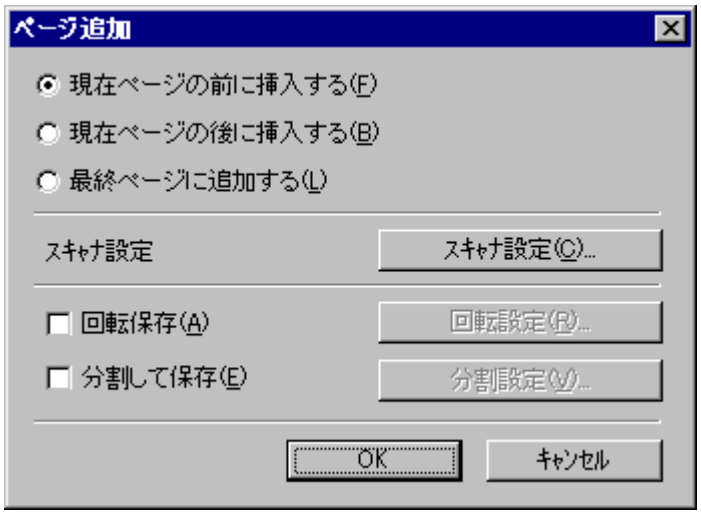
3 追加 / 挿入する画像の入手元を選択します。

- ［スキャナから］
  追加 / 挿入する画像をスキャナから読み取ります。
- ［ファイルから］
  追加 / 挿入する画像を保存されている画像ファイルから選択します。

4 ページの挿入 / 追加を行います。

[スキャナから]を選択した場合

1) [ページ追加 / 挿入]ダイアログボックスを表示します。

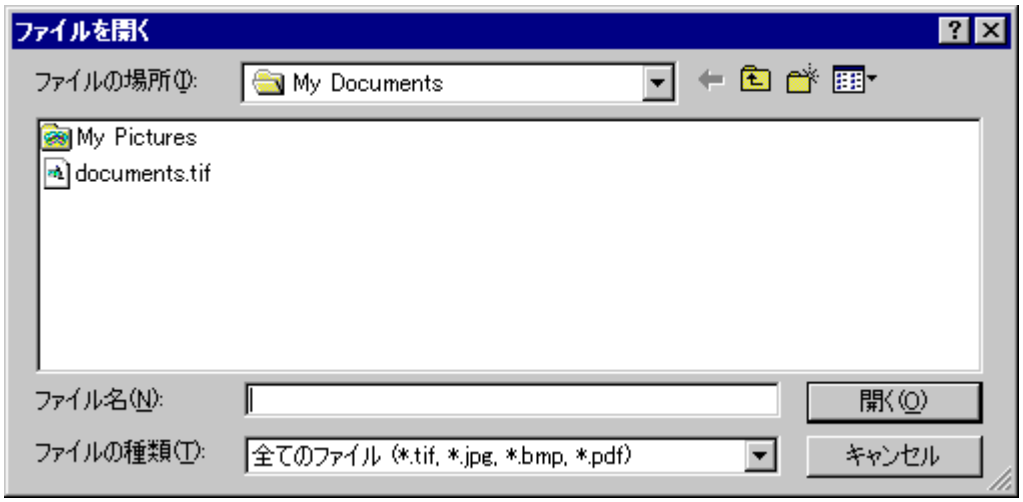


2) ページを追加 / 挿入する位置、および読み取りの設定を行い[OK]をクリックします。
スキャンが開始され、ページの挿入 / 追加が行われます。

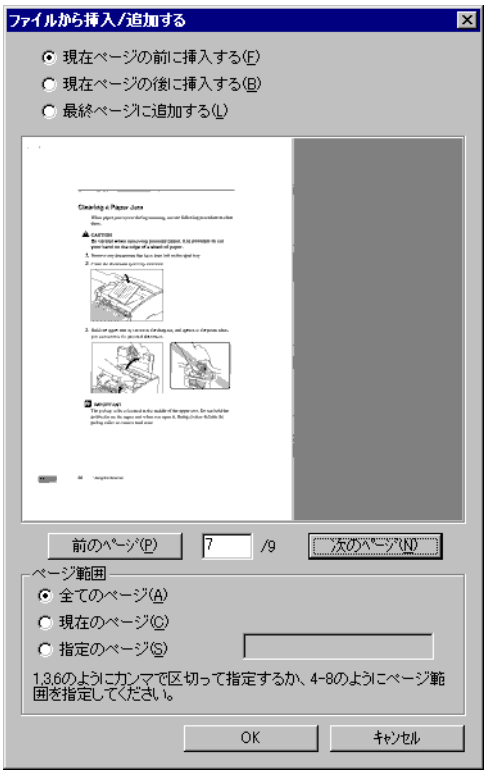
3) 原稿がなくなるとスキャンが終了します。

[ファイルから]を選択した場合

1) [ファイルを開く]ダイアログボックスを表示します。



2）追加 / 挿入する画像ファイルを選択し、[開く]をクリックします。
[ファイから挿入 / 追加する]ダイアログボックスが表示します。



3）ページを追加 / 挿入する位置、および挿入する画像ファイルのページを指定して、[OK]をクリックします。
ページの挿入 / 追加が行われます。

5　ページ挿入 / 追加が終了したら、指定した位置にページが追加 / 挿入されたことを確認します。

メモ

- ページを追加 / 挿入した画像ファイルを保存するときは、［ファイル］メニューから、「ページに名前を付けて保存」または、「閉じる」を選択します。
- 「閉じる」を選択すると、ファイルを保存するメッセージが表示されます。「はい」をクリックすると、画像ファイルが上書き保存されます。

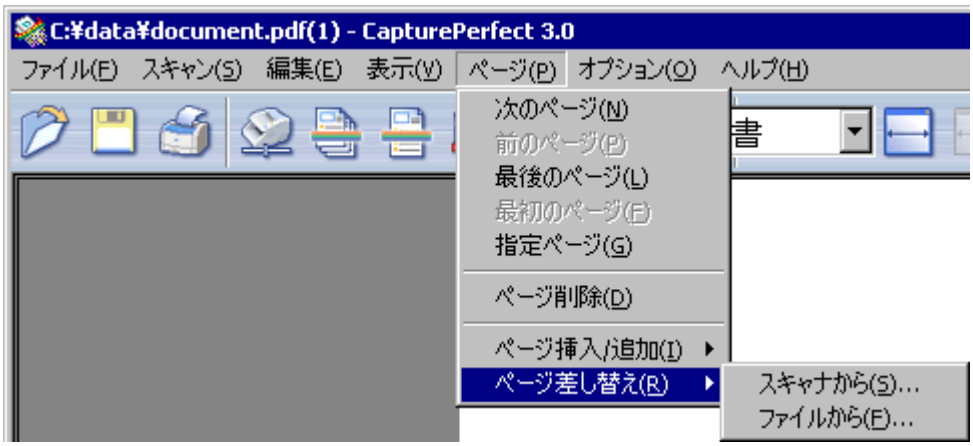
画像ファイルのページを差し替える

マルチページで保存されている TIFF ファイル（＊ .tif）または、PDF ファイル（＊ .pdf）のページの差し替えを行います。差し替えする画像は、スキャナからの読み取り、または CapturePerfect で保存したファイルを指定します。

1 TIFF ファイル（＊ .tif）または、PDF ファイル（＊ .pdf）を開きます。

2 [ページ]メニューの[ページ差し替え]をクリックし、サブメニューを開きます。

［ページ差し替え］ダイアログボックスが表示されます。



3 追加 / 挿入する画像の入手元を選択します。

- ［スキャナから］
  差し替える画像をスキャナから読み取ります。
- ［ファイルから］
  差し替える画像を保存されている画像ファイルから選択します。

メモ

- ［スキャナから］を選択した場合、表示されているページから後のページがスキャンした画像に差し替えられます。
- ［ファイルから］を選択した場合、表示されているページから後のページが選択した画像に差し替えられます。

4 ページの差し替えを行います。

[スキャナから]を選択した場合

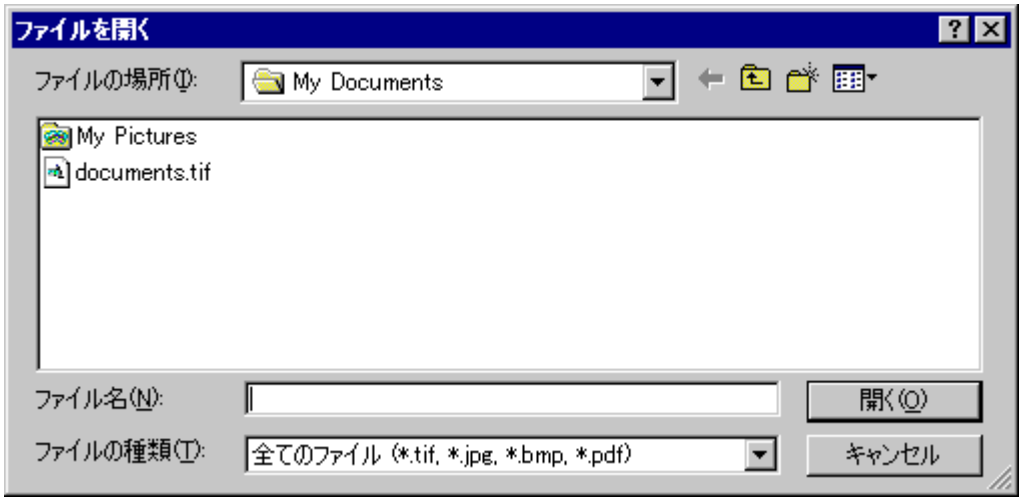
1) [ページ差し替え]ダイアログボックスを表示します。

2) 読み取りの設定を行い[OK]をクリックします。
スキャンが開始され、表示されているページから後のページが差し替えられます。

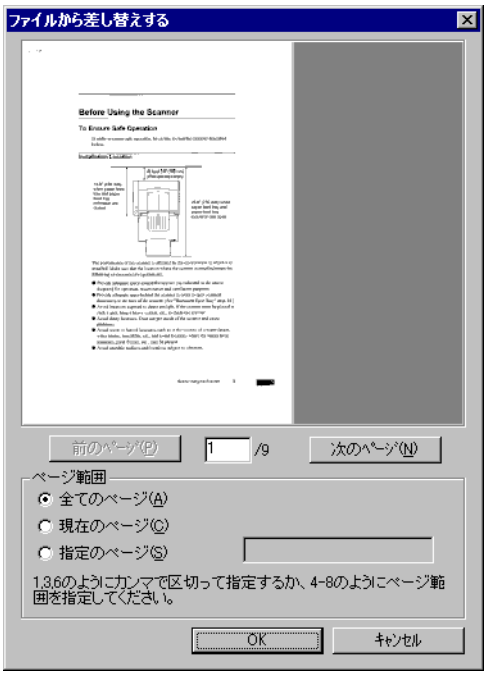
3) 原稿がなくなるとスキャンが終了します。

[ファイルから]を選択した場合

1) [ファイルを開く]ダイアログボックスを表示します。



2）差し替える画像ファイルを選択し、[開く]をクリックします。
[ファイルから差し替えする]ダイアログボックスが表示されます。



3）差し替える画像ファイルの画像を[次のページ]、[前のページ]で確認し、ページ範囲を指定して[OK]をクリックします。
表示されているページから後のページが、ページ範囲で指定された画像に差し替えられます。

5　ページ差し替えが終了したら、指定したページの画像が差し替えられていることを確認してください。

メモ

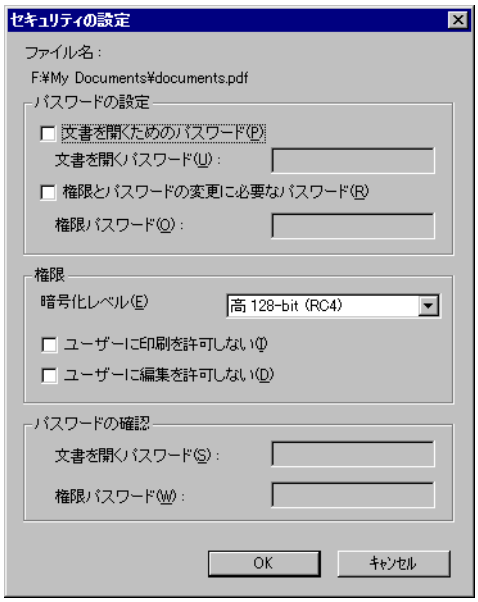
- ページを差し替えた画像ファイルを保存するときは、［ファイル］メニューから「ページに名前を付けて保存」または、「閉じる」を選択します。
- 「閉じる」を選択すると、ファイルを保存するメッセージが表示されます。「はい」をクリックすると、画像ファイルが上書き保存されます。

PDF ファイルにセキュリティを設定する

PDF ファイルに閲覧および印刷、ページの編集を制限するためのセキュリティを設定します。

セキュリティの設定

PDF ファイルを開き、［編集］メニューの［セキュリティの設定］で、［セキュリティの設定］ダイアログボックスを開きます。



1　パスワードを設定するチェックボックスをチェックします。

- ［文書を開くためのパスワード］
  PDF ファイルを開くためのパスワードで、PDF ファイルを開くときにパスワードを入力するためのダイアログボックスが表示されます。
- ［権限とパスワードの変更に必要なパスワード］
  ファイルの印刷やページの編集などの権限の変更を制限するための権限パスワードで、セキュリティの設定を変更する際に、パスワードを入力するためのダイアログボックスが表示されます。

重要

権限を設定するときは、権限パスワードを必ず設定してください。文書を開くパスワードだけで権限を設定した場合、文書を開くだけでセキュリティの解除が可能になるので注意してください。

メモ

ページの追加 / 挿入、差し替えを行うときに、追加 / 挿入するファイルとしてユーザーパスワードが設定された PDF ファイルは使用できません。

2　権限を設定します。

- ［暗号化レベル］
  セキュリティの暗号化レベルを選択します。暗号化レベルには、128-bit(RC) と、40-bit(RC) の２つの暗号化レベルがあり、40-bit(RC) はセキュリティレベルが低く、128-bit(RC) はセキュリティレベルの高い暗号化を行います。

- ［ユーザーに印刷を許可しない］
  PDF ファイルの印刷を禁止します。
- ［ユーザーに編集を許可しない］
  ページ操作（追加 / 挿入 / 差し替え）を禁止します。

重要

権限を設定するときは、権限パスワードを設定し、ユーザーによるセキュリティ解除を制限してください。

3 設定したパスワードと同じパスワードを入力し､パスワードの確認を行います。

4 ［OK］をクリックするとセキュリティが設定されます。

メモ

セキュリティの設定および解除は、ファイルの保存に関係なく、設定されます。

セキュリティの解除

セキュリティの設定されている PDF ファイルを開いた場合、［編集］メニューの［セキュリティの解除］が有効になります。セキュリティを解除するときは、［セキュリティ解除］をクリックし、メッセージにしたがってセキュリティの解除を行います。

メモ

- 権限パスワードが設定されている場合は、権限パスワードの入力が必要です。
- 文書を開くパスワードのみの場合は、［セキュリティ解除］をクリックしたときに、セキュリティ解除の確認のメッセージが表示されます。［OK］をクリックしてセキュリティを解除してください。

索引

A-Z

JPEG 圧縮の設定 20
OCR 機能 28
PDF ファイルの設定 19
TIFF ファイルの設定 18

あ行

明るさ調整 66
印刷 64
ウィンドウの分割 58
[オプション]メニュー 13

か行

回転保存 33
画像の操作
　印刷 64
　開く 62
　保存 60

さ行

差し替え(ページの～) 70
サムネイル 57
ジョブ 52
スキーマ 23
スキャナの設定 15
スキャナの選択 15
スキャン１ページ 38
スキャンジョブ 52
スキャンバッチ
　ファイル 39
スキャンバッチ
　プリント 44
スキャンバッチ
　プレゼンモード 49
スキャンバッチメール 46
[スキャン]メニュー 7
ステータスバー 14
セキュリティ設定 73
　解除 74
設定
　JPEG 圧縮 20
　PDF ファイル 19
　TIFF ファイル 18
　スキャナ 15
　ポインタ 9
　容量警告 35
全画面表示 50
挿入(ページの～) 67

た行

追加(ページの～) 67

は行

バーコード /OCR の
　修正 32
[表示]メニュー 10
開く(画像を～) 62
ファイル形式 17
ファイル名 23
　ファイル名の制限 25
[ファイル]メニュー 5
プリント形式 6
分割して保存 34
ページ差し替え 70
ページ挿入 / 追加 67
[ページ]メニュー 12
[ヘルプ]メニュー 14
[編集]メニュー 8
ポインタの設定 9
保存 60

ま行

マルチストリーム 26
マルチページファイル 21

や行

容量警告設定 35

ら行

ログファイル 31